

第九十回帝國議會
衆議院
臨時物資需給調整法案委員會會議錄(速記)第十三回

モノ、或ハ生産用ノ色々ノ副資材ヲ扱
ツテ居ル業者ト一緒ニ組合ヲ作ルト云
フ風ナ、相當廣イ範圍ニ關聯ノアルモ
ノガ、自由ニ結合ガ出來ルヤウナ組織
ニナツテ居リマスノデ、其ノ點ニ付テ
ハ別段支障ヲ來サナイヤウニ考ヘテ居
リマス、勿論農業關係ノ協同組合トノ
關係ガゴザイマスガ、農業ト云フモノ
ノ特性ガ、専ラ土地ニ即シマシテ特殊
ナ形態ヲ持ツテ居リマス關係上、必ズ
シモ同ジ協同組合ノ中ニ包括スルコト
ハ適當デナイ場合モゴザイマスノデ、
一應別個ニ考ヘテ譯デゴザイマス、唯
農村ニ於テ農村ヨリ生産サレルモノヲ
原料ト致シマシテ、色々農村工業ノ原
料ノ加工ヲ致スト云フ風ナ場合ガアリ
マス時ニ於テハ、ソレ等ノ農村工業ノ
面ニ於キマシテモ、ヤハリ此ノ工業ノ
協同組合ガ結成出來ル譯デアリマシ
テ、サウ云フ面ニ於キマシテハ相當實
際ノ運營ニ於テ、廣ク關聯スルモノヲ
包括スルコトガ出來ルノデハナイカ、
斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○稻田(健)委員 如何ナル職業デモ
加入ヲ拒マスト云フヤウナ話デ、加入
出來レバ成程支障ヲ來サナイノデアリ
マスガ、私ハサウ云フ加入ヲ全部スル
ト云フヤウニモ考ヘラレヌノデアリマ
ス、私等ハ過去ニ於キマシテ指導者カ
ラ色々仰シヤラレマシタ、頭ノ切換ヘ
テセヨトカ、或ハ新體制トヤラ、百八
十度ノ轉換ト云フコトヲ能ク指導サレ
タモノデアリマスガ、中々サウ行カナ
クテ困ツタノデアリマス、此ノ際舊來
ノ繩張ト云フヤウナ爭ヒヲサツバリト
止メマシテ、ソレヲ今マデ指導サレマ
シタ官僚ノ方カ、遅レ馳セナガラ百八
十度マデ行カナクテモ百五十度位ノ轉
換ヲシテ貰ツテ、此ノ協同組合ナル

モノノ實現ニ一ツ邁進シテ貰ヒタイノ
デアアルガ、各産業各職業ヲ一丸トシタ
協同組合ノ組織ガ出來ヌモノデアラウ
カ、又今日議員ノ方カラモ提案シテ居
リマス所ノ色々ノ法案ヲ見マス時ニ、
近キ將來ニハ農業、漁業或ハ林業ト
カ、蠶絲業トカ、或ハ交通業トカ、其
ノ他各種各業ガ各々協同組合ヲ組織セ
ラレルト云フ風ナ氣配ガアルノデアリ
マス、之ヲ阻止スルコトハ出來ナイノ
デハナイカ、サウシマスト、其ノ結果
ハ此ノ法案ノ提出事由トナツテ居リマ
ス所ノ、我が國産業ノ急速ナル再建ヲ
圖ルト云フヤウナコトガ目的デアアルノ
デアリマスガ、凡エル職業ガ協同組合
ヲヤツタ場合ニ於テハ、此ノ目的達成
ニ障礙ヲ來ス虞ガナイカ、斯ウ思ヒマ
ス、此ノ點ハドウデアリマスカ

○小出政府委員 凡エル産業ヲ包括シ
タ協同組合制度ト云フコトモ勿論考ヘ
ラレルトデアリマスガ、唯其ノ場合ニ
於テモ、先程申上ゲマシタヤウニ、農
業關係ト商工業關係トデハ、非常ニ事
業ノ性質ナリ、又行ヒマスル組合ノ事
業モ異ツテ參リマスルノデ、假令形式
的ニハ同ジ構成ノ中ニ入レマシテモ、
又其ノ中デソレノ業種別ニ分類ヲ致
シマシテ、實際ノ運營ハ結局分レルコ
トニナツテ參ルト思ヒマスノデ、取敢
ズ商工業關係ニ付キマシテ別個ノ法制
ヲ考ヘタヤウナ次第デアリマス、勿論
御話ノ通り此ノ法律ノ運營ニ付テハ、
農林省ト商工省トノ對立ト云フヤウ
ナ、所謂「セクショナリズム」ノ弊害
ヲ極力避ケマシテ、緊密ニ連繫ノ下ニ
運營ヲ致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ
居ル次第デアリマス、此ノ組合法ノ如
キモ農林省商工省共同提案ヲ致シテ居
ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、兩省

デ自由ニ之ヲ活用出來ル、斯ウ云フコ
トニナツテ居ル次第デアリマス
○稻田(健)委員 是レ以上申シマス
ト、意見ノ相違ニナリマスノデ、此ノ
位ニシテ私ハ止メテ置キマス
○竹田委員長 駒井慶平君
○駒井委員 私ハ極ク簡單ニ、單的
ニ、要約シテ御尋ネ致シタイト存ジマ
ス、協同組合ノ本質ハ所謂協同主義デ
アツテ、ソレハ他人ノ犧牲ニ於テ自己
ノ利益ヲ得ルコトヲ排除スルモノデア
ル、此ノ社會ニ於テハ、萬人相集マツ
テ自然ト人力トニ依ツテ得ラレル恩惠
ヲ受ケント團體的ノ關聯ノナイコトヲ
目標トスルモノデアルト私ハ信ズルノ
デアリマス、隨テ資本主義ニ立脚シテ
協同組合ノ如キハ、眞ノ協同組合タル
コトヲ得ナイ、斯ウ思フノデアリマ
スガ、此ノ點如何ニ政府委員ハ考ヘラ
レテ居ルカ、總テ人ハ生産者デア
ルト同時ニ消費者デアルトデアリマス、
否、消費者ナルガ故ニ生産者デナケレ
バナラスノデアアル、隨テ綜合的消費者
トシテ分業の生産者タルコトガ、協同
組合員ノ本質デアアルノデアリマス、一
般ノ商業ニ此ノ本質ヲ具備シテ居ルカ
ドウカ、ソレカラ會社組織ノ商工業ニ
此ノ本質ガナイコトハ勿論デアアル、
個人ト雖モ消費者ノ犧牲ニ於テ利益ヲ
得ントスル所謂營利的産業者ニハ、此
ノ本質ヲ求メルコトハ出來得ナイ、本
質ガ異ナルニモ拘ラズ等シク「協同」
ナル言葉ヲ頭ヘ冠セルト云フコトハ、
眞ノ協同組合ノ性格ヲソレダケ阻害ス
ル虞ガアル、商工業者ノ組合ニハ「協
同」ナル用語ヲ省クベキデハナイノ
カ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマスガ、
政府委員ノ御考ヘヲ承リタイ

○小出政府委員 此ノ法律案ニ於キマ
シテ「協同」ト云フ文字ヲ使ヒマシタノ
ハ、前ニモ御答ヘ致シマシタヤウニ、
協同組合主義ト云フ風ナ特別ノ主義理
念ニ立脚シテ、ソレヲ社會經濟組織ノ
全般ニ及ボシマシテ、ソレニ基イテ此
ノ中小商工業ノ方面ニモ、ソレヲ當嵌
メテ行クト云フヤウナ見地カラ之ヲ考
ヘタ譯デハゴザイマセヌノデ、專ラ中
小商工業者ト云フモノノ脆弱ナ力ヲ鞏
固ニ致シマシテ、大規模經營ノ持ツテ
居リマスル經營ノ合理性ヲ、ソレ等ノ
モノニモ均霑スルト云フ爲ニハ、ヤハ
リ協同ノ力ニ依ツテ、力ヲ併セテ協同
事業ヲ行フコトガ一番適當デアラウ、
斯ウ云フ意味ニ於キマシテ「協同」ト
云フ文字ヲ使ツタノデアリマス、隨ヒ
マシテ御説ノヤウナ、モット廣イ意味
ニ於ケル生活協同體ト云フヤウナ考ヘ
方ニ出發シテ居ル考ヘデハゴザイマセ
ヌデ、資本主義カ社會主義カト云マ
ヤウナ考ヘ方トハ別個ノ見地カラ、組
合制度一般ニ付テ申シマスレバ、資本
主義社會ニ於テモ協同組合ハアリ得
マス、社會主義社會ニ於テモ協同組合
ト云フモノハアリ得ルト云フヤウナ考
ヘ方ノ下ニ立案致シタ譯デアリマス、
隨ヒマシテ商業ノ本質、或ハソレヲ目的
ノ會社ト云フヤウナ、本來營利性ヲ持
ツテ居リマスルモノガ集マツテ組合ヲ
作りマス場合ニ於テモ、組合ノ自體
ノ事業ト致シマシテハ之ヲ營利的ニ運
營シナイデ、個々ノ組合員ノ利益ヲ、
組合事業ヲ通ジマシテ増進スルト云フ
見地ニ立チマスルナラバ、必ズシモ商
業本來ノ性質ニ矛盾ヲ來サナイノデハ
ナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デア
リマス

○駒井委員 昨日我々同僚ノ澤田女史
ガ、商工大臣ニ此ノ「イデオロギ」ニ付
テ質問致シマシタガ、其ノ時ノ大臣ノ御
答ヘハ、極力澤田女史ノ希望ノヤウニ、
協同主義、即チ廣ク社會協同主義ニ向
ツテ進ムノデアルト云フ風ナコトニ私
聽イタイノデアリマスルガ、只今ノ御答
ヘト一寸距離致シマスノデ、昨日モ時
間モアレバソレニ付テ質問ヲ致シタイ
ト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、本日
モ大臣ガ御見エニナツテ居リマセヌカ
ラ、此ノ問題ハ保留致シテ置キマス、
次ニ商工組合ト消費者ノ協同組合ト
ノ、同一事業ニ於ケル優位性ヲ明確ニ
スル要ガアルト思フノデアリマス、勿
論其ノ消費者ニヨリ多ク寄與スルモノ
ガ優位ニナルベキデアアルノデアリマ
スガ、優位カ否カハ一時的ノ現象ヲ決マ
ルベキモノデアリナイ、先ヅ顧客ヲ得テ、
然後、ヨリ多クノ利益ヲ得ントスル
ガ如キ働キハ、永久ノ寄與デハナイ、
斯カル寄與ハ獨占事業ニ於テハ直チニ
專横ニ變ルコトハ、戰時ノ統制經濟ガ
既ニ明白ニ立證シテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ政府ニ於テハ現在マデノ方
針ハ、單ニ從來ノ實績ノ尊重ト云フ全
ク便宜主義デ何等ノ「プリシシブル」ハ
認め得ヌレヌノデアリマス、從來生産
シテ居リ、又賣ツテ居ツタト云フコト
ガ、如何ナル積極的合理性ヲ持ツモノ
デアアルカ、ソレハ獨占ノ特權ヲ恣ニセ
ントスルモノニ徒ラニ力ヲ貸スト云フ
コトニナリハシナイカ、斯ウ思フノデ
アリマス、政府ハ常ニ今後改メルト云
フコトヲ能ク仰シヤルノデアリマスル
ガ、政府ノ意ニ離レントスル本質ヲ持
ツモノニ之ヲ期待セントスルコトハ先
ヅ不可能デアアル、空想ニデアアル、斯
ウ私ハ考ヘル、不可能ト知リナガラ、尙
ホ維持セントスルガ如キハ、消費者ノ

立場より組織シタ協同組合ト變リハナ
イト思フガ、明確ニ其ノ邊ノ御所見ヲ
御伺ヒ致シタイノデアリマス

○小出政府委員 今後尙ホ特定ノ物資

ニ付キマシテハ色々物資ノ割當デアリ
マストカ、或ハ生産配給ノ統制ト云フ

コトヲ臨時物資供給調整法ノ運用ニ於
キマシテ、或ル程度行フ譯デアリマス

ガ、其ノ場合ニ於キマシテモ從來ノ戰
時中カラ、例ヘバ整備ニ依リマシテ尙

ホ殘存シテ居リマス業者、サウ云フ方
々ノ實績ヲ尊重シテ、ソレ等ノ人達ノ

ミノ獨占ト云フヤウナ弊害ガ、再ビ繰
返サレハコトノナイヤウニ運用シテ行

クコトハ申スマデモナイノデアリマス
シテ、何分ニ申ス少イ資材ヲ分ケテ行ク

デアリマスカラ、出來ルだけ有効ニ是
等ノ資材ヲ活用スル、能率のニ活用致

シマス爲ニハ、必ズシモ實績ニ因ハレ
ズ、寧ロ能率本位ニ物資ノ割當ナリ、

其ノ他ノ統制ヲ行フテ行クベキモノデ
アラウト思ヒマス、協同組合ノ精神ト

致シマシテモ、單ニ組合員ダケノ獨占
ニ任セズ、加入脱退ニ付キマシテモ、

組合員タル資格ヲ持ツテ居ルモノハ自
由ニナツテ居リマスノデ、ソレ等ノ

過去ニ於ケル既存業者ノ特權ノ保護ト
云フヤウナ弊害ニ陥ラナイヤウニ、注

意シテ行キタイト考ヘテ居リマス
○駒井委員 只今能ク注意シテヤルト

云フコトデアリマスルガ、獨占のニナ
ラヌヤウニクレ、モ實ハ希望シテ置

タノデアリマス
次ニ現在ノ農業會ニ對スル取扱ハド

ウ云フ方針ニ基クデアアルカト云フコ
トヲ伺ヒタイ、本年度ノ麥及ビ馬鈴薯

ノ供出額獎用ニサレタノ地下足袋ニ
付テハ、七月ノ二十日ニ食糧管理局長

ト商工省ノ纖維局長トノ通知デ、概ネ

半數ヲ全農ヲ通ジテ配給スルト云フ通

牒ガアツタノデアリマス、ソレニモ拘

ラズ、遂ニ全農ヲ通ジナカツタト云ス
ノハドウ云フ理由デアアルカ、又八月末

ニナツテモ、出荷責任者タル「ゴム」統

制組合ニ、通知ガ行ツテ居リナイト云

フヤウナコトヲ聽イテ居ルノデアリマス

ガ、其ノ真相ヲ聽キタイノデアリマス
○小出政府委員 先般食糧供出ノ見返

リト致シマシテ、極ク臨時のナ意味ニ
於キマシテ、數世ヲ限定シテ地下足袋

ノ配給ヲ全農ヲ通ジテ 半分デアリ
マスカ、之ヲ配給スルト云フヤウナ方

針ノ下ニ實施セラレタコトハ事實デア
リマスガ、其ノ現物ガ全農ヲ通ジテ居

イ、斯ウ云フ御話デアリマス、其ノ點
ニ付テハ只今茲ニ農林當局ノ方ガ御見

エニナツテ居リマセヌノデ、私詳シク
承知致シテ居リマセヌガ、私ノ聽イテ

居リマス範圍ニ於テハ、サウ云フ臨時
のナ食糧供出ノ見返リト云フ風ナ問題

ニ付キマシテハ、例外的ナ、寧ロ原則
ニ對スル例外的ナ取扱ヒト致シマシテ、

農業會系統ノ配給——現物ニ付キマシ
テノ配給モ農業會ヲ通ジテ行クト云フ

ヤウナ方針ニナツテ居ルヤウニ聽イテ
居リマスノデ、恐ラク其ノ方針通りニ

實施セラレタモノト信ジテ居リマス、尙
ホ萬一其ノ通りニ行ハレテ居リナイト云

フコトデアリマスレバ、農林當局トモ
連絡致シマシテ、實情ヲ能ク調査シテ

見タイト考ヘテ居リマス
○駒井委員 ソレハ大分話ガ違フノデ

アリマスガ、全ク全農ヲ通ジテ居ラヌ
ト云フコトニナツテ居リマス、御承

知ノヤウニ農業會モヤハリ自活セナケ
レバナラヌト云フヤウナ建前ニナツテ

居ル、君ハ商工組合デモ同様デアリマ
スガ、然ルニ供出ササ時ニハ、農業會

ヲ通ジテヤリ、其ノ報奨スル品物ヲ買

フノニ商人ノ方ヘ委セルト云フヤウナ

コトハ、大體農業會トシテハ期待ガ外
レテ居ル、ト云フノハ、農業會ノ御承

知ノヤウニ購買購入組合、ソレガ事業

ノ一ツニナツテ居ルガ、サウ云フモノ

ヲ利用シテヤルコトガ農業會ノ本質ヲ

活用スルコトニナルト思フノデ、今後
ハ是非サウ云フ場合ハ農業會ヲ通ジテ

ヤツテ貰ヒタイ、斯ウ私ハ希望スルノ
デアリマス、ソレカラ同ジヤウナコト

デスガ、「タイヤ」「チニブ」「ゴム」
「ベルト」云フヤウナモノモ農業會ヲ通

ジテヤツタ宜イ、或ハ町村ヲ通ジテ
ヤツタ宜イイト言ヒナガラ、イツモ農

業會ヲ通ジテ居ラヌヤウナ事實ガアル
ノデアリマス、只今申シタヤウニ自活

ヲセナケレバナラヌヤウナ建前ニナツ
テ居リマスカラ、是非共薄イ手數料デ

モ取り得ラレルヤウニ、全農ヲ通ジテ
ヤツテ戴キタイト思フノデアリマス

ガ、其ノ話ハサウスルト云フコトデア
リマス、其ノ實行サレテ居ラヌ、斯ウ聽イ

テ居ルノデアリマス、ソレカラ八月十九
日ノ都道府縣農業會長會議ノ決議ニ基

ク物資配給ニ關スル要望事項、其ノ陳
情書ガ各省ニ參ツテ居ル管デアリマス

ガ、既ニ御審査済ミノコトト思ヒマ
ス、其ノ御處理ノ方法ヲ、一ツ大臣ニ

聽キタイ、御出デガナケレバ政府委員
ニ御伺ヒ致シマス、若シ御手許ニナケ

レバ此ノ要望事項ヲ持ツテ居リマスガ
……

○小出政府委員 八月十九日ノ都道府
縣農業會長會議ノ書類ノ内容ニ付キマ

シテハ、私今手許ニ持ツテ居リマセヌ
ノデ、詳シイコトハ記憶致シテ居リマ

セヌガ、特ニ今御指摘ニナリマシタ農
業會ニ對スル配給ノ問題、「タイヤ」

「チニブ」「ベルト」其ノ他ノ農業生産

用資材ヲ初メト致シマシテ、農業者ノ

生活用品ト云フモノノ配給ニ付キマシ
テ、御話ノヤウニ供出ナリ、農業者ノ

方カラ取上ゲル場合ニハ取上ゲルケレ
ドモ、之ニ對スル見返リノ配給ガ十分

ニ行ツテ居リナイ、斯ウ云フヤウナ御話
デゴザイマシテ、中ニハサウ云フ風ナ

事例モアツタヤウニ聞イテ居リマス、
隨ヒマシテ出來ルだけ農業會ノ活用ト

云フコトニ付キマシテハ、少クとも食
糧供出ノ見返リ品ト云フ風ナ面ニ於キ

マシテハ、出來ルだけ活用シテ行キタ
イト思ツテ居リマス、唯前ニ申シマシ

タヤウニ、原則ト致シマシテハ、ヤハ
リ餅屋ハ餅屋デ商業者ヲ活用スルト云

フノガ本則デゴザイマスガ、唯食糧供
出ト云フヤウナ緊急ナ問題ニ付キマシ

テハ、出來ルだけ農業會ヲ活用スルト
云フヤウナ、臨時のナ意味ニ於キマシ

テ之ヲ取扱ツテ居ルノデゴザイマシ
テ、本來ナラバ商業者ガ扱ツテ然ルベ

キヤウナモノデアリマシテモ、特ニサ
ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ農業

會ヲ活用シテ居ルト云フ、ソコマデノ
氣持ヲ以テ之ヲ運営シテ居ルヤウナ次

第デゴザイマス、私共ト致シマシテ
ハ、農業會ノ活用ニ付キマシテハ相當

ニ意ヲ用ヒテ居ル積リデゴザイマス
ガ、尙ホ今後商業者トノ關係等、色々

難カシイ問題モゴザイマスノデ、其ノ
間ノ調整ニ付キマシテハ十分意ヲ用ヒ

マシテ、善處シテ參リタイト思ツテ居
リマス

○駒井委員 マダ大分アルノデスガ、

余リ細カクナリマスカラ、是デ私ノ質
問ハ打切りマス

○竹田委員長 ソレデハ九鬼君

○九鬼委員 今駒井サンノ御質問ノ中

ニ、協同組合ノ名稱ニ付テノ御質問ガ

アツタノデアリマスルガ、私モ其ノ點

ニ付キマシテ、此ノ協同ナル字句ガ十
分ニ今後ノ商工業組合ノ内容ヲ適切ニ

現ハシテ居リナイト云ツタヤウナ意味カ

ラ行キマシテ、「協同」ノ字ヲ「共」ノ字

ニ直シタラドウカト思ヒマス、協同組
合ノ内容ニ付キマシテハ、只今モ御説

明ノヤウニ、必ズシモ「イデオロギ」
ニ依ツテハ考ヘタモノデハナイト云

フコトデアリマスルガ、此ノ今同ノ法
案ニ使ハレテ居ル「協同」ト云フ字句カ

ラ見マスルト、詰リ箇々ニ互ツテ有機
的ニ繋リガアルト云ツタ意味モ、此ノ

組合法ノ「協同」ナル字句ニ含シテ居
ト私ハ考ヘルノデアリマシテ、寧ロ唯

集マルト云フ意味カラ行キマシタナラ
バ、「共」ト云ツタヤウナ字ヲ使ツタ方

ガ、却テ適切デアルト思フノデアリマ
ス、例ヘバ組合ニ於キマシテモ、統制

的ナ、「カルテル」的ナ組合モ恐ラク出
來ルト思フノデアリマス、例ヘバ組合

ニ於キマシテモ、統制的ナ、「カルテ
ル」的ナ組合モ恐ラク出來ルト思フノ

デアリマスルガ、サウ云ツタ意味カラ
行キマシタナラバ、寧ロ「共」ヲ使ツテ

其ノ性格ヲハツキリトシタ方ガ宜イノ
デハナイカト思フノデアリマス、其ノ

點ニ付キマシテ政府ノ御意向ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○小出政府委員 協同組合ノ此ノ「協

」ノ字ノ問題デゴザイマスガ、協同組合

ノ考ヘ方ニ付キマシテハ、御説ノ通り
其ノ考ヘ方ガ色々違ツテ居リマシテ、

議論ノ分レル所デゴザイマス、私共ガ
敢テ「協同」ト云フ字ヲ使ヒマシタ意味

ハ、先程カラ申上ゲマシタヤウニ、中
小工業ノ運営ノ合理化ノ爲ニ、力ヲ協

セデ利害關係ノ本當ニ共通デアリ、密

切ナモノガ、相互ニ其ノ人的結合ニ依リマシテ、力ヲ協セテヤツテ行クト云フ所ガ主眼デゴザイマシテ、御話ノヤウニ有機的結合ガナイト云フ風ナ前提ニ立ツテ考ヘテ居ル譯デハゴザイマキヌ、寧ろ適ニ有機的ナ、本當ニ親密ヲ結合ノ上ニ立ツテ、此ノ組合ヲ運営シテ行クト云フコトガ主眼デゴザイマシテ、有機的結合ト云フ點カラ致シマシテモ、協同ト云フ文字デ達支ヘナインデハナナカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○九鬼委員 只今御説明ノヤウニ、政府ガサウ云ツタ意味ヲ以テ考ヘテ居ラレルトシタナラバ、今後唯統制的ノヤウナ團體ガアルト云ツタ時ニ、ソレニ對シテヤハリ此ノ協同組合ノ認可ヲ與ヘラレルノデアリマセウカ、ドウデアリマスカ

○小出政府委員 協同組合デアリマス以上ハ、統制團體トハ全然別個ニ考ヘテ居リマス、若シ其ノ協同組合ガ統制ヲ目的トシタヤウナ、或ハ統制ト云フコトヲ表面ニ謳ハナイデモ、ソレヲ「カモフラージュ」シタヤウナ組合デアリマス場合ニ於キマシテハ、勿論是ハ協同組合ノ本質ニ反スルモノト考ヘマシテ、認メナイ積リデアリマス、唯臨時物資需給ノ調整法トノ關係ニ於キマシテ、臨時的ノ意味ニ於キマシテ、此ノ協同組合ヲ偶々統制ノ一環トシテ活用スルト云フヤウナ場合ハアラウカト思ヒマスガ、組合設立ノ精神ナリ目的ガ、本來統制ト云フコトカラ出發スルト云フヤウナモノデアリマスレバ、是ハ認ナイ方針デアリマス

○九鬼委員 次ニ中小商工業者ニ對シテ、金融ノ保障ハ復興金融庫ニ於テヤルト云フコトヲ承ツテ居リマスガ、

ソレ以外ノ施設等コ付キマシテ、是モ簡々ニ依ツテ之ヲヤル時ニハ非常ニ高イ設備費トナルノデアリマシテ、斯ウツタ點ハ非常ニ影響ヲ及ボシテ參ルト考ヘルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテ、政府ハ何カ特別ニ補助制度ヲ考ヘテ居ラレルカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○小出政府委員 組合ノ共同設備、特ニ工業者ノ機械設備デアリマスツカ、或ハ倉庫トカ云フヤウナ物の設備ニ付キマシテハ、ソレニ相當ナ金ヲ要シマスノデ、之ニ對シマス政府ノ助成ノ方途ハナナカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、御話ノ通りサウ云フヤウナ共同設備ニ對スル補助金ト云フヤウナ制度ハ、曾テ工業組合等ノ時代ニ於テハアツタノデアリマス、併シナガラ何分ニモ今日ノ財政狀態カラ致シマシテ、サウ云フヤウナ組合ニ對スル補助金ヲ簡便ノ組合ニ對シテ出スト云フ餘裕ハ、實ハマダナイヤウデゴザイマス、併シ若シ將來ニ於キマシテ財政上ノ餘裕ガ出來マシタ場合ニ於キマシテハ、出來ルダケサウ云フ風ナ場合ハ補助金ト云フモノニ付キマシモ、十分ニ考慮ヲ拂ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○九鬼委員 モウ一點御伺ヒシマス、此ノ商工協同組合ガ取扱フ物資ト、今後農業會ガ出來テ其ノ取扱フ物資トノ間ニ、非常ニ競合關係ヲ生ズルと思フノデアリマス、曾テ以前ノ農業組合ガ、以前ノ商業組合トノ間ニ非常ニ摩擦ヲ生ジテ、殊ニ我々肥料商トシテハ、農業組合ト肥料商トノ間ニ、肥料ノ取扱ニ付テ比率ヲ決メタヤウナ時代ガアツタノデアリマスガ、今後ハサウ云ツタコトガ一層顯著ニナツテ來ルト

考ヘルノデアリマス、サウ云ツタ時ニ何カ之ニ對シテ對策ヲ考ヘテ居ラレルカドウカ、御伺ヒ致シマス

○小出政府委員 御話ノ通り所謂産業組合ニ對スル商業者ノ商權保護運動トカ、反産運動ト云フヤウナ永年ニ互ル經濟上、社會上ノ問題ガ、今日ニ至リマシテモ尙ホ根本的ニ解決サレテ居ナイト云フ點ハ、洵ニ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマス、之ニ對シテ政府トシテハ商工省及農林省、業者ノ緊密ナル連絡ニ依ツテ、今後ノ根本方針トシテハ大體具體的ニ其ノ取扱ヒ物資ノ分野ヲ定メマシテ、例ヘバ農業會ニ於テハ主トシテ農業生産資材ヲ扱フコトヲ本旨トシ、一般ノ生活用品其ノ他ノ日用品或ハ輕便品ニ付テハ、餅屋ハ餅屋デ商業者ニ扱ハセルト云フ風ナ大體根本ノ方針ヲ定メテ、其ノ線ニ沿ツテ更ニ具體的ニ其ノ取扱ヒ物資ノ範圍ヲ定メル、尙ホ其ノ外臨時の措置トシテ、食糧物資ノ見返リト云フ緊急ナ問題ニ付テハ、其ノ都度別途ノ對策ヲ講ジテ行ク、斯ウ云フヤウナコトデ今相談ヲ進メテ居ル次第デアリマス、何レ出來ルダケ早イ機會ニ具體的ナ要綱ヲ決定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○九鬼委員 ソレデハ私ノ質問ハ是デ打切りマス

○竹田委員長 加藤勲十君

○加藤(勲)委員 先程福田サンカラ第十二條ニ付テ、組合員以外ノ組合利用ニ付テノ御質問ガアリマシタガ、私ハ第一號、第二號ノ共同購入トカ、保管トカ、運搬販賣サウ云フ施設ハ、之ヲ所屬組合ガヤツタ場合ニハ組合員全體ガ其ノ適用ヲ受ケルノカ、ソレトモ、希望スル人間ダケデアルノカ、其ノ點商工省ノ御意向トシテハドウデスカ

○小出政府委員 協同組合ノ精神カラ申シマシテ、組合員ガオ互ヒニ利害共通シテ居リマス者ガ集マツテ、皆デ一緒ニ協同事業ヲ行フ譯デアリマスノデ、組合員全部ガ此ノ施設ヲ利用スルト云フノガ本來ノ趣旨デアラウト考ヘテ居リマス

○加藤(勲)委員 第二項、例ヘバ事業資金ノ貸付ト云フコトハ組合員全部ト云フ譯デハナクシテ、誰デモ利用シタイ者ガ利用スルト云フコトデス、實際ニ貸付ヲ受ケタ者ダケガ此ノ規定ノ制約ヲ受ケル譯デスカ、一號ト二號ハ、組合ノ理事者ガ組合ノ名ニ依ツテヤツタ場合ニハ全組合員ヲ拘束スルカ、ソレトモ組合各自ノ自由意思ニ依ツテ、組合ハサウヤツタケレドモ、俺ハ其ノ點ダケハ希望シナイノダト云フ場合ニ、サウ云フ個人ノ組合員ノ自由ノ意思ガ許サレルカ、ソレトモ組合ノ當事者ガヤツタコトハ組合員全體ガ拘束ヲ受ケルカ、斯ウ云フ點ダト思ヒマスガ

○小出政府委員 組合ノ理事ハ組合ノ事業ニ關シマシテハ其ノ業務ノ執行機關デアリマスシ、又外部ニ對シテハ組合ノ代表機關デアリマスノデ、理事ノ行ヒマシタ行為ニ付テハ、其ノ儘ニ組合ノ行爲ト見ラレルコトニナリマスノデ、自然其ノ組合ノ構成員ニ其ノ關係ガ及ンデ行ク、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、唯理事ガ事業トシテ行ヒマスニ付テハ、飽クマデモ是ハ組合員ノ總會ガ中心デゴザイマシテ、總會ガ凡ニ事業運営ノ最高意思決定機關デゴザイマスノデ、總會ノ意思決定ニ反スルヤウナ事業運営ハ、理事者トシテハ出來ナイ斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス

○加藤(勲)委員 其ノ點ハ私ハ正ニ其ノ通りデアラウト思ヒマスガ、餘リニ此ノ間中カラ組合員ノ自由意思ト云フコトガ言ハレテ居リマシタ、若シサウ云フコトガアルト組合ノ統制ハ、切角共通ノ利害關係ニ依ツテ結バレタ組合ノ運営ガ非常ニ圓滑ヲ缺クト思ヒマスノデ、念ノ爲ニ御伺ヒスルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ第八條ノ組合組織ノ問題デスカ、此ノ場合ニ、例ヘバ同一地域ニ於テ業者ガ假ニ百人ナラ百人アルト云フ場合ニ、其ノ中ノ八十人入若シクハ九十人ガ組合ヲ構成シタ、事實上ハ私ハ其ノ地域全體ノ業者ハ組合ニ入ルト思フ、ソレデハナク實際一ツ一ツノ小サナモノデハ對抗出來ヌカラ入ルト思ヒマスガ、若シサウ云フ組合ガ出來タ時ニ入ラナイ人ガ假ニアルトスルト、先程カラ福田サンガ御馳ケニナツタヤウニ、組合員外ト雖モ、組合ノ施設ヲ利用スルコトガ出來ルト云フコトカラ、組合ニ入ラナクテモ、組合ノ仕事ハ自分達ニモ其ノ恩恵ガ受ケラレルノデ、ダカラ組合ニ入ツテ組合ノ拘束ヲ受ケナクテモ宜イノダト云フヤウナ利己的考ヘカラ、組合ニ入ラナクシタ人ガアツタ場合ニ、其ノ地域ニ於テ、同種産業ニ付テ、三分ノ二トカ四分ノ三トカノ多數ガ入ツタ場合ニ、其ノ他ノモノヲ當然其ノ組合ノ決定ノ拘束ヲ受ケル、例ヘバ労働組合ノ團體協約ノ場合ノヤウナ適用ヲ受ケルモノカ受ケナイモノカ、此ノ點ハドウデスカ

○小出政府委員 協同組合ノ事業ノ内容ハ、御承知ノ通り經濟事業ガ主眼デアリマシテ、共同仕入、共同販賣ト云フ經濟事業ガ主眼デアル關係上、統制的ナ事業ハ一切行ハナイコトニナツテ居ルノデアリマシテ、一定ノ販賣ノ協定

生産ニ關スル制當ト云フヤウナ統制的
ナ事業ハ、此ノ組合デハ出來ナイコト
ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ或ル一
定ノ地域内ニ於テ、組合員ノ資格ヲ持
ツテ居ルモノノ大部分ガ組合ニ入ツテ
居ル場合ニ於テモ、アトノ少數ノ人
ヲ、其ノ組合ノ統制的ナ事業ノ拘束ヲ
強制スルト云フヤウナコトハ、勿論協
同組合ノ本質カラ出來ナイコトニナツ
テ居リマス、唯此ノ協同組合ガ假ニ臨
時物資供給調整法ニ依ツテ、物資制當
團體ト云フ指定ヲ受ケル場合ガアル
時、初メテソコニ物資制當ノ權限ヲ別
ノ法律ニ依ツテ與ヘラレル、斯ウ云フ
關係ニナリマスノデ、其ノ場合ニ初メ
テ「アウト・サイダー」ニ對スル制當ト
云フ權限ガ出テ來ルノデアリマス、協
同組合自體トシテハ「アウト・サイ
ダー」ニ對スル制當ハ一切出來ナイコ
トニナツテ居リマス

ニ謂ツテ居リマス民主的ノ組織ト云フ
モノハ、産業團體ト云フ言葉ノ解釋
カラ申セバ、此ノ協同組合ノ如キハ
當ニ其ノ條件ニ當ルマル譯デアリマス
テ、隨テ協同組合ガ物資制當團體トシ
テ指定サレル場合ハ勿論アリ得ル譯デ
アリマス、之ニ付テハ先般御答ヘ致シ
マシタヤウニ、大體需給調整法ニ謂ツ
テ居ル制當團體ハ、全國的ナ生産者團
體ガ中心デアリマシテ、協同組合ガ物
資制當團體ニ指定サレルト云フコト
ハ、寧ロ例外的ナ場合デハナカラウカ
ト考ヘマス、併シナガラ若シ實際問題
ト致シマシテ制當團體ノ指定ヲ受ケマ
シタ場合ニ於キマシテ、組合員ト「ア
ウト・サイダー」トノ關係ヲドウスルカ
ト云フ問題ニ付キマシテハ、例ヘバ制
當ヲ致シマス場合ノ制當手數料デア
ルナカ、サウ云フ風ナ問題ガ起ツテ參
マスル場合ニ於キマシテハ、組合員ト

「アウト・サイダー」トノ區別ヲ設ケ
ル、其ノ手數料ノ額等ニ付キマシテ區
別ヲ設ケルト云フヤウナ問題モ出テ參
リマスシ、又協同組合ノ事業ソレ自體
ノ内容カラ申シマシテモ、組合ノ協同
施設ヲ員外者ガ利用スルト云フヤウナ
場合、例ヘバ倉庫ノ保管料ト云フヤウ
ナモノヲ取リマスル場合ハ、「アウト
サイダー」カラハ組合員ヨリモ多額ノ
保管料ヲ取ルト云フヤウナコトニ依
リマシテ、組合員ト「アウト・サイダー」ト
ノ間ノ區別ヲ設ケルコトニ依リマシ
テ、結局組合ニ入ラナケレバ、實際上
色々ノ點ガ不便アルト云フ風ナ運
營ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス

昨日來ノ答辯ヲ聽イテ居リマス、
小賣業者ガ多過ギルト云フコトヲ政府
ハ御認メニナツテ居ルヤウデアリマ
ス、サウシテ健全ナル小賣業者ハ育成
スルガ、不健全ナル業者ハ抑制スル、斯
ウ御言明ニ相成ツテ居ルノデアリマ
ス、健全ナル小賣業者ノ育成ノ方法ニ
付テハ總々御説明ガアリマシタガ、不
健全ナル小賣業者ヲ抑制スル方法ニ付
テハ何等ノ御説明ガナカッタノデゴザ
イマス、先ヅ不健全ナル業者ノ抑制ノ
方法ヲ御尋ネシテ見タイと思フノデア
リマス

テハ營業自由ノ原則、經濟民主化ノ根
本理念カラ致シマシテ、自由ニ事業ヲ
開始スルコトヲ不當ニ抑制スルコトハ
ドウカト思ハレマスノデ、只今ノ所サ
ウ云フ營業免許制ト云フコトニ依ツ
テ、新規事業ノ發生ヲ抑制スルヤウナ
方途ハ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ
結局過剰ノ人口ヲ新シク吸收スル分野
ヲ育成シテ行ク、言換ヘマスレバ生産
方面ノ振興ニ重點ヲ置キマシテ、生産
人口ヘノ吸收ト云フコトニ努力スル以
外ニ方法ハナイデハナイカ、斯様ニ考
ヘテ唐ル譯デアリマス、唯細カキ具體
的ナ問題ニナリマス、例ヘバ露店商
ト云フ風ナモノノ取締ヲ致シマス場合
ニ於キマシテ、警察許可制度ト云フヤ
ウナモノヲ布キマシテ、露店ニ出店ス
ルヤウナ業者ニ付キマシテハ、餘リ素
人或ハ攤出業者ノナ不健全ナ一不健
全ト云フヨリハ經驗ノナイイガ、徒ニ
簡便ニ事業ヲ續キト開始スルコト云フ
ウナコトノナイヤウニ、過去ニ於テ戰
災ニ遭ツテ店舖ヲ失ツタト云フ風ナ、
經驗ノアル業者ヲ優先的ニ許可シテ行
クト云フヤウナ方法ニ依ツテ、相當ニ
露店出店者等ニ付キマシテハ抑制ノ途
ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

スガ、露店商ノ店ヨリハ少シハ發達シ
タ家屋、一間四方位ノ家屋ヲ造リマシ
テ、ドンノ小賣商人ノ營業ヲ許可致
サレツ、アルヤウナ狀態デアリマス、
斯ウ云フ狀態ヲ變ケマスルト恐ラク多
數ノ小賣業者ガ出ルト思フノデアリマ
スガ、先般モ小賣業者ガ多イト云フノ
デ其ノ轉業對策トシテ、政府ハ多額ノ
補助金ヲ使ハレタト云フコトハ、是ハ
過去ニ於ケル事實デアリマス、小賣業
者ノ轉業對策ヲドウスルカト云フコト
ハ、相當ナ問題ニカリツ、アル今日ニ
於キマシテ、尙更小賣業者ヲドシノ
許可ニナルト云フコトニナリマスレ
バ、此ノ將來ニ於ケル轉業對策ニハ莫
大ナ費用ヲ以テシナケレバ、此ノ對策
ヲ講ズルコトハ出來ナイト云フヤウナ
實情ニ相成ルト考ヘマスノデ、此ノ點
ニ付キマシテハ慎重ナル御考慮ヲ願ヒ
タイと思フノデアリマス

○加藤勸委員 私ノ御伺ヒシタノ
ハ、協同組合ト云フモノガ、當然臨時
物資需給調整法ニ依ツテ、民主的ニ構
成サレタ産業團體トシテ指定サレルト
云フコトヲ前提トシテ居リマス、勿論
此ノ法律自體ハサウ云フ拘束力ガナイ
トシテモ、一切ノ業務運營上ニ於テハ
拘束力ヲ持ツコトニナルト思フ、其ノ
時ニ組合員ト組合員外ニ對スル共同
負擔義務ヲ負フモノト、何等負擔義務
ヲ負ハナイモノトドウ云フヤウニ處
置スルカ、是ハ此ノ法律ノ範圍内デハ
ナイニシテモ、實際ニ法律ニ依ツテ協
同組合ガ運營サレテ行ク場合ニ起ル問
題デアリマス、將來恐ラク地方々々ニ
於テ、若干ノトラブルヲ起スノデハナ
イカト思ヒマスガ、サウ云フ場合ノ解
釋ヲ御伺ヒタイ

○小出政府委員 臨時物資需給調整法
ニ謂ツテ居リマス民主的ノ組織ト云フ
モノハ、産業團體ト云フ言葉ノ解釋
カラ申セバ、此ノ協同組合ノ如キハ
當ニ其ノ條件ニ當ルマル譯デアリマス
テ、隨テ協同組合ガ物資制當團體トシ
テ指定サレル場合ハ勿論アリ得ル譯デ
アリマス、之ニ付テハ先般御答ヘ致シ
マシタヤウニ、大體需給調整法ニ謂ツ
テ居ル制當團體ハ、全國的ナ生産者團
體ガ中心デアリマシテ、協同組合ガ物
資制當團體ニ指定サレルト云フコト
ハ、寧ロ例外的ナ場合デハナカラウカ
ト考ヘマス、併シナガラ若シ實際問題
ト致シマシテ制當團體ノ指定ヲ受ケマ
シタ場合ニ於キマシテ、組合員ト「ア
ウト・サイダー」トノ關係ヲドウスルカ
ト云フ問題ニ付キマシテハ、例ヘバ制
當ヲ致シマス場合ノ制當手數料デア
ルナカ、サウ云フ風ナ問題ガ起ツテ參
マスル場合ニ於キマシテハ、組合員ト

「アウト・サイダー」トノ區別ヲ設ケ
ル、其ノ手數料ノ額等ニ付キマシテ區
別ヲ設ケルト云フヤウナ問題モ出テ參
リマスシ、又協同組合ノ事業ソレ自體
ノ内容カラ申シマシテモ、組合ノ協同
施設ヲ員外者ガ利用スルト云フヤウナ
場合、例ヘバ倉庫ノ保管料ト云フヤウ
ナモノヲ取リマスル場合ハ、「アウト
サイダー」カラハ組合員ヨリモ多額ノ
保管料ヲ取ルト云フヤウナコトニ依
リマシテ、組合員ト「アウト・サイダー」ト
ノ間ノ區別ヲ設ケルコトニ依リマシ
テ、結局組合ニ入ラナケレバ、實際上
色々ノ點ガ不便アルト云フ風ナ運
營ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス

昨日來ノ答辯ヲ聽イテ居リマス、
小賣業者ガ多過ギルト云フコトヲ政府
ハ御認メニナツテ居ルヤウデアリマ
ス、サウシテ健全ナル小賣業者ハ育成
スルガ、不健全ナル業者ハ抑制スル、斯
ウ御言明ニ相成ツテ居ルノデアリマ
ス、健全ナル小賣業者ノ育成ノ方法ニ
付テハ總々御説明ガアリマシタガ、不
健全ナル小賣業者ヲ抑制スル方法ニ付
テハ何等ノ御説明ガナカッタノデゴザ
イマス、先ヅ不健全ナル業者ノ抑制ノ
方法ヲ御尋ネシテ見タイと思フノデア
リマス

テハ營業自由ノ原則、經濟民主化ノ根
本理念カラ致シマシテ、自由ニ事業ヲ
開始スルコトヲ不當ニ抑制スルコトハ
ドウカト思ハレマスノデ、只今ノ所サ
ウ云フ營業免許制ト云フコトニ依ツ
テ、新規事業ノ發生ヲ抑制スルヤウナ
方途ハ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ
結局過剰ノ人口ヲ新シク吸收スル分野
ヲ育成シテ行ク、言換ヘマスレバ生産
方面ノ振興ニ重點ヲ置キマシテ、生産
人口ヘノ吸收ト云フコトニ努力スル以
外ニ方法ハナイデハナイカ、斯様ニ考
ヘテ唐ル譯デアリマス、唯細カキ具體
的ナ問題ニナリマス、例ヘバ露店商
ト云フ風ナモノノ取締ヲ致シマス場合
ニ於キマシテ、警察許可制度ト云フヤ
ウナモノヲ布キマシテ、露店ニ出店ス
ルヤウナ業者ニ付キマシテハ、餘リ素
人或ハ攤出業者ノナ不健全ナ一不健
全ト云フヨリハ經驗ノナイイガ、徒ニ
簡便ニ事業ヲ續キト開始スルコト云フ
ウナコトノナイヤウニ、過去ニ於テ戰
災ニ遭ツテ店舖ヲ失ツタト云フ風ナ、
經驗ノアル業者ヲ優先的ニ許可シテ行
クト云フヤウナ方法ニ依ツテ、相當ニ
露店出店者等ニ付キマシテハ抑制ノ途
ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

スガ、露店商ノ店ヨリハ少シハ發達シ
タ家屋、一間四方位ノ家屋ヲ造リマシ
テ、ドンノ小賣商人ノ營業ヲ許可致
サレツ、アルヤウナ狀態デアリマス、
斯ウ云フ狀態ヲ變ケマスルト恐ラク多
數ノ小賣業者ガ出ルト思フノデアリマ
スガ、先般モ小賣業者ガ多イト云フノ
デ其ノ轉業對策トシテ、政府ハ多額ノ
補助金ヲ使ハレタト云フコトハ、是ハ
過去ニ於ケル事實デアリマス、小賣業
者ノ轉業對策ヲドウスルカト云フコト
ハ、相當ナ問題ニカリツ、アル今日ニ
於キマシテ、尙更小賣業者ヲドシノ
許可ニナルト云フコトニナリマスレ
バ、此ノ將來ニ於ケル轉業對策ニハ莫
大ナ費用ヲ以テシナケレバ、此ノ對策
ヲ講ズルコトハ出來ナイト云フヤウナ
實情ニ相成ルト考ヘマスノデ、此ノ點
ニ付キマシテハ慎重ナル御考慮ヲ願ヒ
タイと思フノデアリマス

○加藤勸委員 宜シウゴザイマス
○竹田委員長 ソレデハ金子君、商工
省ニ對スル御質問ハゴザイマス、
貿易廳次長ガ事マデ宜シウゴザイマ
ス

○小出政府委員 臨時物資需給調整法
ニ謂ツテ居リマス民主的ノ組織ト云フ
モノハ、産業團體ト云フ言葉ノ解釋
カラ申セバ、此ノ協同組合ノ如キハ
當ニ其ノ條件ニ當ルマル譯デアリマス
テ、隨テ協同組合ガ物資制當團體トシ
テ指定サレル場合ハ勿論アリ得ル譯デ
アリマス、之ニ付テハ先般御答ヘ致シ
マシタヤウニ、大體需給調整法ニ謂ツ
テ居ル制當團體ハ、全國的ナ生産者團
體ガ中心デアリマシテ、協同組合ガ物
資制當團體ニ指定サレルト云フコト
ハ、寧ロ例外的ナ場合デハナカラウカ
ト考ヘマス、併シナガラ若シ實際問題
ト致シマシテ制當團體ノ指定ヲ受ケマ
シタ場合ニ於キマシテ、組合員ト「ア
ウト・サイダー」トノ關係ヲドウスルカ
ト云フ問題ニ付キマシテハ、例ヘバ制
當ヲ致シマス場合ノ制當手數料デア
ルナカ、サウ云フ風ナ問題ガ起ツテ參
マスル場合ニ於キマシテハ、組合員ト

「アウト・サイダー」トノ區別ヲ設ケ
ル、其ノ手數料ノ額等ニ付キマシテ區
別ヲ設ケルト云フヤウナ問題モ出テ參
リマスシ、又協同組合ノ事業ソレ自體
ノ内容カラ申シマシテモ、組合ノ協同
施設ヲ員外者ガ利用スルト云フヤウナ
場合、例ヘバ倉庫ノ保管料ト云フヤウ
ナモノヲ取リマスル場合ハ、「アウト
サイダー」カラハ組合員ヨリモ多額ノ
保管料ヲ取ルト云フヤウナコトニ依
リマシテ、組合員ト「アウト・サイダー」ト
ノ間ノ區別ヲ設ケルコトニ依リマシ
テ、結局組合ニ入ラナケレバ、實際上
色々ノ點ガ不便アルト云フ風ナ運
營ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス

昨日來ノ答辯ヲ聽イテ居リマス、
小賣業者ガ多過ギルト云フコトヲ政府
ハ御認メニナツテ居ルヤウデアリマ
ス、サウシテ健全ナル小賣業者ハ育成
スルガ、不健全ナル業者ハ抑制スル、斯
ウ御言明ニ相成ツテ居ルノデアリマ
ス、健全ナル小賣業者ノ育成ノ方法ニ
付テハ總々御説明ガアリマシタガ、不
健全ナル小賣業者ヲ抑制スル方法ニ付
テハ何等ノ御説明ガナカッタノデゴザ
イマス、先ヅ不健全ナル業者ノ抑制ノ
方法ヲ御尋ネシテ見タイと思フノデア
リマス

テハ營業自由ノ原則、經濟民主化ノ根
本理念カラ致シマシテ、自由ニ事業ヲ
開始スルコトヲ不當ニ抑制スルコトハ
ドウカト思ハレマスノデ、只今ノ所サ
ウ云フ營業免許制ト云フコトニ依ツ
テ、新規事業ノ發生ヲ抑制スルヤウナ
方途ハ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ
結局過剰ノ人口ヲ新シク吸收スル分野
ヲ育成シテ行ク、言換ヘマスレバ生産
方面ノ振興ニ重點ヲ置キマシテ、生産
人口ヘノ吸收ト云フコトニ努力スル以
外ニ方法ハナイデハナイカ、斯様ニ考
ヘテ唐ル譯デアリマス、唯細カキ具體
的ナ問題ニナリマス、例ヘバ露店商
ト云フ風ナモノノ取締ヲ致シマス場合
ニ於キマシテ、警察許可制度ト云フヤ
ウナモノヲ布キマシテ、露店ニ出店ス
ルヤウナ業者ニ付キマシテハ、餘リ素
人或ハ攤出業者ノナ不健全ナ一不健
全ト云フヨリハ經驗ノナイイガ、徒ニ
簡便ニ事業ヲ續キト開始スルコト云フ
ウナコトノナイヤウニ、過去ニ於テ戰
災ニ遭ツテ店舖ヲ失ツタト云フ風ナ、
經驗ノアル業者ヲ優先的ニ許可シテ行
クト云フヤウナ方法ニ依ツテ、相當ニ
露店出店者等ニ付キマシテハ抑制ノ途
ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

スガ、露店商ノ店ヨリハ少シハ發達シ
タ家屋、一間四方位ノ家屋ヲ造リマシ
テ、ドンノ小賣商人ノ營業ヲ許可致
サレツ、アルヤウナ狀態デアリマス、
斯ウ云フ狀態ヲ變ケマスルト恐ラク多
數ノ小賣業者ガ出ルト思フノデアリマ
スガ、先般モ小賣業者ガ多イト云フノ
デ其ノ轉業對策トシテ、政府ハ多額ノ
補助金ヲ使ハレタト云フコトハ、是ハ
過去ニ於ケル事實デアリマス、小賣業
者ノ轉業對策ヲドウスルカト云フコト
ハ、相當ナ問題ニカリツ、アル今日ニ
於キマシテ、尙更小賣業者ヲドシノ
許可ニナルト云フコトニナリマスレ
バ、此ノ將來ニ於ケル轉業對策ニハ莫
大ナ費用ヲ以テシナケレバ、此ノ對策
ヲ講ズルコトハ出來ナイト云フヤウナ
實情ニ相成ルト考ヘマスノデ、此ノ點
ニ付キマシテハ慎重ナル御考慮ヲ願ヒ
タイと思フノデアリマス

ケレドモ、今議會ニ改正法律案ヲ提出
スルト云フヤウナ考ヘハ今ノ所ナリ譯
デゴザイマス、御諒承願ヒマス

○川野委員 勿論今議會ハ餘日ガ幾何
モゴザイマスノデ、今議會ニ提案サ
レルモノトハ私モ考ヘテ居リマス、
併シ少クモ次ノ臨時議會ニハ御提案
ニ相成ルモノ、斯ウ私ハ考ヘマシテ御
質問申上ゲタノデアリマスガ、臨時議
會ニ提案スルカ否カト云フヤウナ點
モ、只今ノ御答辯カラ推シマスルト危
ブルヤウナコトデゴザイマス、
少クモ臨時議會ニハ、何トカシテ一
ツ御提案ニナルヤウ切望シテ置ク次第
デアリマス、尙ホ其ノ際ニ於テ特ニ御
願ヒスルコトハ、昨日デゴザイマシタ
カノ答辯ニ依リマスルト、復興金融
庫ノ資金ヲ中小商業者ニ優先ノ三貸
ト云フコトヲ御言明ニ相成ツテ居ル
デアリマス、併シ如何ニ御答辯ニナリ
マシテモ、實際問題ト致シマスルト、
大企業家ガ取りマシテ中小商業者ニ其
ノ資金ガ行クカドウカト云フコトヲ實
ハ私非常ニ危ムノデアリマス、ソレデ
復興金融庫カラ或ル程度ノ廻マツタ
金ヲ商工組合中央金庫ヨリ中小商業者
ニ貸スト云フコトガ、眞ニ中小商業者
者ノ救済ニナルノデハナイカ、斯ウ考
ヘルノデゴザイマスルガ、此ノ點ニ付
テ御尋ネシテ見タイト思フノデアリマ
ス

經濟ノ復興ト云フ上ニ、中小商業者
ガ非常ニ大キナ役割ヲ務メル點ヲ考ヘ
マシテモ、是ハ當然ノコトデゴザイマ
スノデ、出來ルデケル努力ヲ致シテ參リ
タイト云フ考ヘデ居リマス、現ニ只今
復興金融庫ガ出來ルマデノ經過ノ
措置ト致シマシテ、日本興業銀行ニ特
別融資ト云フ形デ、復興金融庫ガ行
ヒマスト同様ノ資金ノ融通ヲヤラシテ
居ルデゴザイマス、最近九
月十八日マデモ融通ヲ見マシタ件數ガ
七十七件アルノデゴザイマス、
モ、其ノ中ノ六十件ト云フモノガ金額
百萬圓以下ノ中小融資ト見ラレルモノ
デゴザイマス、既ニ只今申シマシタ
ヤウナ中小商業者ヘノ融資ト云フコ
トヲ、現ニ相當努力シテヤツテ居ルノ
デゴザイマス、デ中小商業者ヘノ資
金ヲ執ツタラ宜イカト云フコトニ付
キマシテハ色々考ヘテ居リマス、中小
商業者ヘノ專門ニ振ヒマスヤウナ部
課ノ金庫ノ中ニ設ケマシテ、或ハ中小
商業者ヘノ常設ノ相談所ヲ設ケマス
トカ、或ハ一歩進ンデ中小商業者ニ
對スル指導所ト云ツタヤウナモノヲ金
庫ノ中ニ設ケマシテ、特ニ中小商業者
ノ指導育成ノ、資金ノ援助ト云フヤ
ウナコトヲヤツテ參リタイト云フヤ
ウナコトモ考ヘテ居ルノデゴザイマス
レドモ、丁度今御話ガアリマシタヤ
ウナ、中小商業者ヘノ取扱フノ適當
ナ機關ヲ代理店ト致シマシテ、ソレニ
相當額マツタ資金ヲ出シテ貸キマシ
テ、其ノ資金ヲ自由ニ代理店ニ使ハセ
ルト云フヤウナコトモ、一ツノ方法ト
シテ現在ハ致シテ居リマスノデ、適當
ナ方法ガ付キマシタナラバ、サウシタ
手續モヤツテ參リタイト云フ考ヘデ居
ルデゴザイマス

○川野委員 現在ノ商工組合中央金庫
ハ、地方ノ商業者ト非常ニ密接ナ緊
リガアルノデアリマス、此ノ密接ナ緊
リヲ利用致シマシテ、商工組合中央金
庫ニ廻マツタ所ノ資金ヲ貸シマシテ、
サウシテ商工組合中央金庫カラ中小商
業者ニ貸スト云フコトニナリマス
ト、現在ノ密接ナ關係ハ生キタコトニ
ナリマシテ、非常ニ中小商業者ハ助カ
ルノデハナイカト考ヘマスノデ、是非
此ノ點ヲ切實ニ研究シマシテ實現サレ
ンコトヲ切望シマス、尙ホ先日ノ御
答辯ニ依リマス、市街地信用組合ノ
預金ヲ、商工組合中央金庫ニ預入レル
コトヲ認メルヤウニスルト云フ御答辯
ガアツタノデアリマスガ、洵ニ當ヲ得
タ御答辯デアルト考ヘテ居リマス、是
ト同時ニ市街地信用組合モ商工組合中
央金庫ニ一ツ出資スル途ヲ講ジタラド
ウカ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、
ト申シマス、コトハ現在ノ市街地信用組
合ト云フモノハ、其ノ約六十パーセ
ントト云フモノハ殆ド中小商業者ノ
預金デアリマス、主ニ中小商業者ノ預
金ヲ吸收スル所ノ市街地信用組合ハ、
當然商工組合中央金庫ニモ出資スル途
ヲ講ズルト云フコトガ便宜デアアル、又
名實共ニ商工組合中央金庫ガ、中小商
業者ノ金融機關デアアルコトモ立證サレ
テ居リマス、此ノ點モ一ツ斯ウ
云フ途ヲ開カレタラドウカト考ヘルノ
デアリマス、尙ホ市街地信用組合ノ監
督官廳デアリマスルガ、是ハ現在農林
省ト相成ツテ居リマス、ガ併シ是ハ少
クモ商工省ニサレタ方ガ便利デハナ
イカ、中小商業者ノ資金ヲ扱ツテ居
ル所ノ市街地信用組合デアアルガ故ニ、
其ノ中小商業者ヲ監督スル所ノ商工省

ニ其ノ監督權ヲ移讓シタ方ガ適當デハ
ナカラウカ、斯ウ考ヘルノデアリマス
ルガ、此ノ點ニ付テ御尋ネ申上ゲタイ
ノデアリマス

○三井政府委員 市街地信用組合ノ問
題デアリマス、ケレドモ、只今モ御話
ノアリマシタヤウニ、市街地信用組合
ハ其ノ大部分ノ構成員ガ都市ノ中小商
工業者デアリマシテ、其ノ性質カラ申
シマシテモ農業會ト云フモノトハ相當
違ツテ居リマス、從來カラ此ノ市
街地信用組合ヲドウ云フ系統ニ置イタ
ラ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、
相當研究ヲシテ居ル實情デアアルノデ
リマス、ケレドモ、從來ノ經驗カラ、現
在所ハ大藏省ト農林省ガソレヲ監督
シ、更ニ農林中央金庫ノ系統ニ入ツテ
居ルト云ツタヤウナ狀況ニナツテ居
デゴザイマス、併シナガラ只今御話
アリマシタヤウニ、其ノ性質カラ申シ
マシテ、相當ニ無理解ナ點モアル譯デ
ザイマス、將來商工中金トノ關係ヲ
付ケルト云フコトモ一ツノ方法ト思ヒ
マス、ソレカラ監督官廳ノ問題ニ付キ
マシテモ、當然考ヘナケレバナラスト
思フノデアリマスガ、十分今後研究ヲ
致シタイト考ヘテ居リマス

○川野委員 政治ハ活キ物デゴザイマ
スノデ、宜イト御認メニナツタコトハ
早目ニ實行シテ戴キタイト思フノデ
ザイマス、尙ホ次ノ二點ハ本會議デモ
實ハ私質問致シタイノデアリマス、
ガ、答辯ニ満足シマセヌノデ、簡單ニ
重ネテ御質問シテ見タイト思フノデ
リマス、企業整備ノ廢メタ人ノ共助金
ト云フモノハ、總テ特殊預金トシテ實
ハ千圓ヲ除キ預ケサシテアルノデア
リマス、然レニ此ノ特殊預金ヲ第二封鎖
中ニ繰入レテ居リマスノデ、是ハ少

クトモ戰災者ガ戰災保險五萬圓マデハ
課稅ヲ免レルト云フコトニ相成ツテ居
ルヤウデアリマス、是ト同様ニ少ク
トモ此ノ企業整備ニ依ツテ廢メタ者ニ
限ツテハ、特殊預金ニ或ル程度ノ特別
待遇ヲ取扱フベキモノデアアル、斯ウ考
ヘルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ
御尋ネシテ見タイト思フノデアリマス

○三井政府委員 企業整備ヲ受ケマシ
タ者ノ特殊預金ノ問題ニ付キマシテ
ハ、非常ニ其ノ當事者ノ狀況カラ申シ
マシテモ、何トカ之ヲ救ツテ上ゲナケ
レバナラヌコトハ、是ハモウ當然ノコ
トデアリマス、サウシタ考ヘラ
以チマシテ相當檢討シタノデアリマ
ス、ケレドモ、結局ノ所、只今御話ノ出
マシタ狀況ニ相成ツテ居ルノデアリマ
シテ、戰災ヲ受ケタ者トノ間ニ非常ナ
不權衡ヲ來シテ居ルト云フ、洵ニ御氣
ノ毒ナ狀況ニナツテ居ル譯デアリマ
ス、此ノ點ニ付キマシテ、企業整備ヲ
受ケタ方々ノ中ニハ、過去ニ於キマシ
テ十分ナ經驗ヲ持ツテ居ル譯デアリマ
ス、ソレカラ能力モアルト云ツタヤ
ウナ方々、當然是カラ復興シテ行キタ
イ、新シク又商賣ヲ始メタイ、或ハ事
業ヲ始メタイト云ツタヤウナ方々ニ對
シマシテハ、今度ノ復興金融庫ニ於
キマシテモ、十分其ノ資金ノ援助ヲ
致サウ、其ノ復興ニ必要ナ資金ヲ積極
的ニ援助致シマシテ、特殊預金トシ
テ持ツテ居ツタモノガ封鎖サレシマツ
タノニ代ヘルヤウナ方法ヲ講ジテ行キ
タイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○川野委員 洵ニ血ヲ涙モノイ御答辯
ヲ戴キマシテ、實ハ私非常ニ悲シム者
デアリマス、企業整備ニ遭ツタ者ハ、先
祖代々永年ニ亘ツテ營業致シテ來タ其
ノ營業權ヲ振拾テテ、國ノ命令ノ儘ニ

國ノ要請スル場所、即チ地下數千尺ノ坑ノ中ニ入ッテ石炭ヲ掘ツタリ、或ハ又政府ノ命ズル儘ノ軍需工場ニ參ッテ、サウシテ價レナイ仕事ヲハアリナガラ、國家ノ爲ニ汗或ハ膏ニ盡レテ働イタ方デアリマス、此ノ方々、將來又何時ノ日カ先祖代々ノ營業モヤラウ、或ハ生産事業ニモ加ハラウ、斯ウ云フヤウナ考ヘデ實ハ働イ居ツタノデアリマス、然ルニ終戦後今日營業ヤアルト考ヘマシテモ、資金ガナイノデアリマス、其ノ資金タルヤ實ハ自分ノ財産トシテ特殊預金ニナツテ居ル、其ノ特殊預金スラ一錢モ貰ヘナイト云フコトニ相成リマス、サウ云フ方ハ如何ナル考ヘヲ起スデアリマセウカ、斯ウ考ヘマス時ニ、私ハ非常ニ悽然タラザルヲ得ナイノデアリマス、今日總テ政府ト云フモノハ、猛烈ナル運動ヲヤリマス、其ノ運動ニ依ッテ政治ヲ行ツテ居ラレガ、此ノ企業整備ニ依ッテ廢メタ方々相當ナ運動ヲヤツタト云フ聲ヲ聞キマセウ、ソレデ血モ涙モナイ所ノ政治ヲ御執リニナツテ居ルノデハナク、斯ウ私ハ考ヘマス、少クとも幾ラノ特殊預金ハ之ヲ特別取扱トスルコトガ、國ノ命令ニ儘ニ、或ハ國ノ要請ニ依ッテ轉讓シタ方ニ對スル報イデハナカラウカ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、尙ホ企業整備ニ當リマシテ廢メタ方ニヤツタ所ノ現在ノ中小商業者ハ、當時政府ガ命令致シマシタ即チ三箇年以上十箇年ノ利益割ト云フ此ノ命令ノ儘ニ、半分ハ手出しシ、半分ハ更生金庫カラノ金ヲ借りテ出シテ居ルヤウデアリマス、其ノ金モ、現在示サレタ統計表ニ依リマシテモ三・四%ハ支拂済ニナツテ居リマスルガ、六六%ト云フモノハ未拂金

トナツテ居リマス、此ノ金ヲ拂ヘト申シマシテモ拂フコトノ出來ナイ統制組合ガ大多數デアルト私ハ思フノデアリマス、然ルニ此ノ更生金庫ニ對スル借金ト云フモノハ、時ノ役員ガ個人判ヲ押シテ借出シテ居ルノデアリマス、若シ今日絕對支拂ヘト云フコトニナリマス、此ノ役員ガ個人判ヲ出シテ居ル關係上、全部手出しシテ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ現下ノ實情デアリマスルガ、之ニ對シテ政府ハ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスルカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイト思フノデアリマ

リ致シマセウ、支拂フ能力アル者ハ支拂ツテ貰フ、支拂フ能力ノナイ者ハドウスルト云フ點ガドウモハツキリセヌヤウデゴザイマスガ、當然此ノ點ハ、支拂能力ガナイ者ハ支拂ハヌデモ宜イ、斯ウ解シテ宜イノデゴザイマス、此ノ點ヲモウ一度伺ツテ置キマセウ

○三井政府委員 支拂能力ノアル限リハ、是ハモウ拂ツテ戴ク譯デアリマスケレドモ、支拂フ能力ノナイト云フ場合ニハ、是ハモウ已ムヲ得ナイ譯デアリマス、唯併シナガラ支拂能力ガナイト云フコトヲ、程度ニ認定スルカ、是ハ認定ノ問題ニナツテ、實際問題トシテ箇々ノ場合ニ解決サレド思ヒマス、支拂能力ナシト云フコトニナリマシタ場合ニハ、ソレ以上追求ノ方法ガナイト云フコトデアリマス

○川野委員 私人大藏省關係ノ質問ハ終リマシタ

○竹田委員長 ソレデハ加藤君ニ一ツ御譲リ願ヒタイト思ヒマス——加藤勸十君

○加藤(勸)委員 ロノ先デ中小工業ノ復興助成ガ喧シク叫バレ、机上デ其ノ重要性ガ喧シク叫バレテ居ルニモ拘ラズ、實際ニ於テ責任ノアル大臣ナリ、主管ノ主任者ガ來ナイト云フコトハ非常ニ残念ナコトデアリ、且ツ遺憾デアリマス、サウ云フコトデ、私ノ中小企業者若シクハ商工業ノ復興助成ヲ中心トスル法案ノ審議ニ當リマシテ、又疑義ガアルノニ其ノ疑義ヲ質ス場合ニ、政府當局ノ十分ナ説明ノナイト云フコトハ遺憾ナコトデアリマス、併シナガラハ午後又外ニ行カケレバナリマセヌノデ、已ムヲ得ズ——幸ヒニ事務官ガ此處ニ御出席ニナリマシタノデ御尋ネシマスガ、一番初メ、昨日モ私申シ

マシタヤウニ、復興トカ助成トカ言ウタ所デ、現實ニ方法ガ講ジラレナケレバ、言葉デ百萬遍叫バレテモ何ニモナナイ、昨日商工省ノ鐵道局長カハ相當具體的ナ説明ガアリマシタ、今同僚委員ニ對スルアナタノ御答ヘハドウモ抽象的デ具體的デナイ、隨テ私ノ御問ヒスルコトニモサウ云フ抽象的ナ研究スルトガ考ヘルトカ云フコトデナク、出來ルコトハ出來ル、出來ヌコトハ出來ヌ、出來ナケレバドウスレバソレガ出來ルヤウニナルカ、ハツキリ言ツテ實ヒタイ、其ノ點質問ニ入ル前ニ豫メ御斷リシテ置キマス、今マデ中小工業ノ復興若シクハ助成ト云フコトガヤカマシク叫バレテ居リマスガ、ソレハ總テノ人々カラ言ハレル通り、日本ノ産業ニ於テ中小工業ノ占メテ居ル比重カラ行ケバ當然ナコトデス、併シ果シテ然ラバ、叫バレテ居ルヤウニ、中小工業ノ助成ニ付テ具體的ナ方法ガ講ジラレタカト云フ、我々ガ現實ニ見テ居ル通り講ジラレテ居ナイ、例ヘバ金融關係ニ於テモ、今マデノ財閥銀行ヲ中心トスル大銀行ハ、資金ノ場合ニ極力吸收スルケレドモ、貸出ノ面ニ於テハ極力制約シテ居ツテ、殆ド大産業ニ集中サレテ居ルコトハ爭ヒノナイ事實デアリ、ソレガ爲ニ中小工業者ハ非常ニ高イ金利ヲ——時ニハ高利貸的ナ金利ヲ受テ拂ツテ金ヲ借りテ居ルコト云フヤウナ實情ハ、我々ガ所在ニ見テ來タ事實ナノデアリマス、サウ云フ點カラ言ツテ、戰後日本經濟ノ様相ガ一變シタコトニ付テ、戰前若シクハ戰時中ノ如クニ、中小工業ニ對スル金融ガ輕視サレルト思ヒマセウカ、又今アナタガ仰シヤツタヤウニ大藏省ニ於テモ——大藏大臣ガ貴族院デ答サレタ所ニ依ッ

テモ、相當積極的ニ此ノ方面ニ力ヲ入レラレラシイコトハ分リマス、ソレヲ具體的ニ、手續ノ煩瑣ヲ點ヲ省略シテ、簡便ニ容易ニ金ガ貸出シ得ラレル方法ヲ講ジテ貰ハナケレバイカヌト思ヒマス、ソコデ私ハ問題ヲ限定シテ色々御尋ネシタイコトモアリマスケレドモ、理窟ヲ議論ニ互ルコトハ一切抜キニシテ、現實ノ問題トシテ復興金融庫ト商工組合中央金融庫トノ關係、具體的ニ復興金融庫カラ商工組合中央金融庫ニ資金ヲ融通スル意思ガアルカドウカ、先ヅ之ヲ御伺ヒシタイ

○三井政府委員 企業整備ヲ受ケタ方方ノ問題ハ、只今御話ノアリマシタヤウニ洵ニ御氣ノ毒ナ狀況ナノデゴザイマシテ、只今血モ涙モナイト仰シヤイマシタケレドモ、私共ト致シマシテモ、十分考ヘラレドモ、コトヲ考ヘマシタ結果ガ洵ニ御氣ノ毒ノヤウナ結論ニナリマシタ、其ノ點點メテ残念ニ思ツテ居ルノデゴザイマス、今後立直リタイ——十分能力モアリ、經驗モ御持テノ方デ、今後復興シタイト云フ方方ニ對シマシテハ、出來ルダケノ御援助ヲシテ參リタイト云フ考ヘナノデアリマス

ソレカラ只今ノ更生金庫カラノ借入金ノ問題デアリマスルケレドモ、是ハ其ノ組合々々ノ實情ニ基キマシテ十分考ヘマシテ、適當ナ取立テヲ致シテ行クコトニ相成ル譯デアリマス、決シテ無理ナ取立ヲスルト云ツタヤウナコトハ致サナイ方針デゴザイマス、實情ニ應ジテ回収ノ付クモノハ回収ラシムル、決シテ無理ナコトハ致サナイ考ヘデゴザイマス、御諒承ヲ願ヒマス

○川野委員 ドウモ今ノ答辯ハハツキ

○三井政府委員 先程申シマシタヤウニ、商工中金ニ一括シテ資金ヲ渡シテ置キマシテ、其ノ資金ヲ以テ商工中金ニ任セテ中小融資ヲヤツテ貰フ、是ハ一ツノ方法デアリマスケレドモ、實際問題トシテ之ヲ使ヒマス爲ニハ、商工中金ニ融通シマシタ資金ノ返還ニ對スル商工中金ノ責任ヲ初メカラ決メテ置キマセウ、後ニナツテ非常ニ問題ニナリマス、其ノ點ヲ只今ドウ云フ風ニシテ宜イカト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、詰リ商工中金ガ其ノ融通シテ貰ツタ資金デ金ヲ貸シマシテ、其ノ資金ガ回収不能ニナツタ場合ニ、商工中金ハ何處マデ責任ヲ負フカ、其ノ問題ガ適當ニ解決出來マシタナラバ此ノ方法ガ採ル譯デアリマ

○加藤(勸)委員 其ノ方法ヲ研究シテ居ラレト云フコトデス、ソレハ復興金融庫法案ガ此ノ議會ヲ通ツテ初メテ出發スル譯デ、融資シ得ル限度ハ總額ドレ位デスカ

○三井政府委員 本年ノ八月カラ來年

ノ三月マデノ間ニ、各事業界デ必要ト致シマス資金ヲ、非常ニ大難把デアリマスガ、集計シテ結果ガ二百億圓ト云フ数字ニナツテ居リマス、其ノ中ノ三割、六十億圓ト云フモノヲ復興金融庫カラ一應融資スルコトニテラウト云フ、只今ノ豫想デ居ル譯デゴザイマスガ、其ノ中の確ニ中小融資ニ屬スル一假リニ申シマスナラバ金額何萬圓以下ノ融資ガ幾ラト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノ所マデ的確ナ推算ヲ持ツテ居リマセズ、併シ先程カラ申シマスヤウニ、復興金融庫ト致シマシテハ、中小融資ハ出來ルダケノ方法デ以テヤツテ行キタイ、其ノ爲ニ出來ルダケノ窓口ヲ作り代理店ヲ作り、融資ノ手續モ簡便ニ致シマス、先程申シマシタヤウニ相談所トカ、指導所トカ言ツタヤウナモノモ作りマシ、中小商工中金トカ、庶民金融庫トカ、或ハ農林中金トカ云ツタヤウナ、所謂庶民金融ニ適當シタヤウナ機關ヲモ、ドンノ利用シテ行キタイと思ツテ居ル譯デアリマス、百億圓ノ中カラ相當ノ金額ガ中小融資トシテ使ハレテタルト云フコトハ申シ迄モナイ所デゴザイマス

○加藤(勸)委員 サウシマスト政府ノ推定デハ八月カラ三月、八箇月間ニ六十億圓ノ融資ガ出來ル推定デスネ、其ノ六十億圓ノ中、中小工業ニ關スル融資ハマダ額ハ分ラナイ、分ラナイガ出來ルダケ廣ク出張所ナリ、代理店ナリ、相談所ナリヲ設ケテヤラレル、斯ウ云フ譯デスネ、其ノ代理店ハ興業銀行デスカ、勸業銀行デスカ、ソレトモ普通銀行ニナリマスカ、相談所ハ何處ニ設ケラレル豫定デスカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○三井政府委員 現在日本興業銀行ガ

ヤツテ居リマス特別融資ノ場合ニハ、日本興業銀行ノ店ノ外ニ勸業銀行ノ店ノ全部、ソレカラ商工中金ノ店ヲ全部、北海道殖産銀行ノ店ノ中一部、レダケヲ現在ノ所ハ代理店ニシテ居リマス、復興金融庫ガ出來マシタ後ニハ、今度ハ興業銀行モ代理店ト云フコトニ考ヘラレマス、其ノ外ニ只今申シマシタ勸業銀行トカ、商工中金トカ、北拓リデ居リマス、ソレ以外ニ先程申シマシタヤウナ庶民金融庫トカ、或ハ地方金融庫トカ、農林會社トカ云フヤウナ適當ナ代理店ヲ、ドンノ殖ヤシテ行クト云フ方針デ居リマス

○加藤(勸)委員 サウシマスト復興金融庫トシテハ代理店ナリ、相談所ナリヲ通ジテ直接ニ融資サレル方針デアリマス、ソレトモ普通銀行ヲシテ、若シハ商工組合中央金融庫ヲシテ融資セシムル方法デアルカ、若シヤウ云フ間接ノ融資トスルナラバ、其處ニ當然融資ガ行ハレル譯デスカ、ソレハドツチノ方針ヲ御執リニナル譯デスカ

○三井政府委員 先程申シマシタ商工中金ニ一括シテ資金ヲ任セマシテ、其ノ資金デ以テ商工中金ニ貸付ヲシテ貰フト云フ方法ガ實際ニ使ヘルコトニナリマス、其ハ場合ニ商工中金自體ノ貸付ト云フ形デ、資金ヲ使フ人ニ金ガ出テ來ル譯デゴザイマス、代理店トシテ商工中金其ノ他ノ機關ヲ使ヒマス場合ニハ、是ハ何處マデモ復興金融庫自體ノ貸付ト云フ形ニナリマス

○加藤(勸)委員 サウシマスト二本建ニナル譯デスネ、私ノ聞イタ所ニ依ルト、大キイ業者ハ主トシテ復興金融庫ノ方針トシテハ普通銀行ヲシテ融資セシメテ、其ノ普通銀行ニ對シテ復興

金融庫カラ融資スルト云フ、間接ノ方法ガ執ラレルト云フコトヲ聞イテ居リマシタガ、中小企業ノ場合ハ二本建ニナル譯デスカ、大企業ノ場合ハ必ズシモサウデハナク、直接ノ場合モアルデスカ

○三井政府委員 大企業ノ場合ニ普通銀行カラ融資サセテ、其ノ普通銀行ニ復興金融庫カラ資金ヲ供給スルト云フ考ヘハゴザイマセズ

○加藤(勸)委員 ナイノデスカ、ソレデハ其ノ點ハ其ノ位ニシテ置キマシテ、ソレカラ是ハ具體的ナ問題デスカ、此ノ點ニ付テ大藏當局ガドウ云フ工合ニ御考ヘニナツテ居ルカ御伺ヒシタイノデス、實ハ毛織物工業組合、愛知毛織ニ於キマシテ現在共同施設シテ原料ノ共同購入、ソレカラ製品ノ共同販賣ヲヤツテ居リマス、其ノ原料ノ共同購入ヲヤリマシタ代金、勿論是ハ組合員間ガ負擔スルモノデ、組合ハ唯其ノ「トネル」ニ過ギナイ、其ノ場合ニ買受ケタ組合員カラ代金ヲ封鎖デ支拂ヒマシテ、ソレガ組合ノ手ニアル内ニ、八月十一日ノアノ預金措置令ニ當面シマシテ、マダ賣渡シノ方ニ組合カラ引渡サナイ内ニ、組合デ第二封鎖ニ引掛ツテシマツタ譯デス、サウシマス預金ノ性質カラ言ツテ、是ハ組合ノ預金デモ何デモナイ譯ナノデス、材料ノ購入者ノ預金ニ於テ封鎖サレルカ、代金ヲ受取ツタ賣渡業者ノ預金ニ於テ封鎖サレルカスレバ、ドチラデモ當然ノコトダト思ヒマスガ、其ノ中間ノ途中ニ於テ組合ノ手デ封鎖サレテシマツタト云フコトニナリマスルト、實際ニ組合ノ共同施設ヲ組合員全體ガ共有スル譯デアリマスカレドモ、此ノ場合ニナルト、支拂ツテ封鎖ニ

遭ツタ或ル人ハ利益ヲ得マスルガ——實際ハ利益モ何モナイノデスカ、其ノ他ノ組合員ハソレガ爲ニ組合資金ノ運轉ノ上ニ於テ非常ニ支障ヲ生ズル譯デス、ソコデ日本銀行ノ名古屋支店ニ相談シテ見タ所ガ、サウ云フ場合ニハ實害ガナイノデアルカラ、大藏省ノ告示ニ依ツテ之ヲ買受業者カ賣渡業者カ、ドチラカノ手ニ移轉サセテモ差支ヘナイノデアルシ、移轉サセルコトガ出來ルト云フコトヲ説明シテ呉レタサウデス、大藏省ハ其ノ點ニ對シテドウ云フ工合ニ御考ヘニナツテ居リマスガ

○三井政府委員 私直接ニ擔當デゴザイマセヌデ、正確ニ御答ヘ致シ兼ねルノデゴザイマスカレドモ、八月十一日現在ニ其ノ預金ガ組合ノ名義ニナツテ居リマシタスルト、ヤハリ封鎖ニナツテシマフト云フコトニナルト思ヒマス、今告示デ以テ何カ特別ノ措置ヲ云フコトヲ仰シヤイマシタノデスカ、サウ云ツタヤウナモノニ付キマシテ、只今ノ所サウ云フ特別扱ヒヲスルト云フ告示ヲ出テ居ラナイヤウニ思ヒマス、尙ホ正確ナ所ヲ調べマシテ、適當ナ機會ニ御答ヘ致シタイ存ジマス

○加藤(勸)委員 ソレハ何處デ扱ツテ居ラレマス、ヤハリ銀行局デスカ

○竹田委員長 銀行局ノ福田事務官ガ一番詳シイヤウデス

○加藤(勸)委員 ソレハ何時御答ヘ戴ケマス、直接應キマセウカ

○竹田委員長 直接行ツテ御聽キニナツタラドウデスカ

○加藤(勸)委員 具體的ナ問題デスカ、委員會デナクとも直接ニ行ツテ聽イテモ宜イノデス、デハ其ノ點ハ其處デ聽クコトニ致シマス

ソレカラモウツ、是ハ銀行局ノ關係デハナク主稅局ノ關係ニナルカト思ヒマスガ、織物消費稅ノ取立ノ問題デス、是ハ當然中小企業ヘノ金融ト密接ノ關係ガアル、或ハ御聞キ及ビカドウカ存ジマセヌガ、具體的ナ例ヲ舉ゲマス、一宮稅務署管内ニ於ケル織物業者ガ納メテ居リマス稅ノ總額ハ、今マデハソレ程デモアリマセヌデシタガ、今度ハ消費稅ガ一舉四割マデ引上ゲラレマシタ爲ニ、本年度ノ實際ノ狀態ハ二億七千萬圓ニ上ル譯デアリマス、此ノ二億七千萬圓ト云フ税金ヲ納メルニ付キマシテ現在行ハレテ居ル方法ハ、是ハ織物消費稅法ニ依ツテ擔保ヲ入レテ居ル、サウシテ三箇月間ノ延滞——生産者カラ消費者ニ循環シテ來ル過程ヲ三箇月間ト見テ、三箇月間ノ期間ガ置カレテ居ルノデアリマス、所ガ今マデハサウデハアリマセヌデシタガ、今年ハ是ダケノ税金ヲ納メルニ付テ、製品ヲ作ツテ検査ヲ受ケルト直チナケレバ倉出ガ出來ナイ、所ガサウ云フ遊ソデ居ル金ハ何處ニモナイノデアリマス、ソコデドウシテモ勢ヒ日歩拂ツテ、銀行カラ金ヲ借りテ、サウシテ其ノ税金ヲ納メル、而モソレヲ納メルノ銀行業者ニ代ツテ擔保ヲ提供スル、所ガ其ノ銀行ガ大藏省ニ提供スル擔保ハ國債デスカ、國債ノ利子ヲ日歩デ貸付ケテ利子ヲ取ル、ソシテ三箇月間モ何千萬圓ト云フ多額ノ金ヲ無利子ヲ流用シテ居ル、結局國債ハ自分ノ手持デアルカラ別デスカ、銀行ハ二重ノ大キイ利益ヲ得テ居ル譯デアリマス、所ガ業者ハ一々日歩ヲ拂ツテ、銀行カラ金ヲ借りテ税金ヲ拂フ狀態デ

○三井政府委員 税金ノ問題デアリマスノデ、私ノ直接ノ擔當デアナイノデアリマスケレドモ、今御話ノヤウニ税金ガ確實ニ或ル時期ニナレバ納入サレル、サウシテソレノ擔保モ十分ニ取ツテアルト云フヤウナコトデアリマスレ

云フ意味デナインノデアリマスカ、ヤハリ組合ノ名デ以テ一應銀行ノ預金サレテ居ルト云フ形デゴザイマスカ

○加藤(勲)委員 預金サレテ居ル場合モ、アリマセウガ、預金ニマデ入ラナイデ、組合ノ手ニアル場合デス

言明ガ、私共國民ニ非常ナ喜ビト希望
ヲ與ヘテ居ルコトモ事實デアリマス、
ソレハ少クトモ今日私共日本國民ガ占
領サレテ居リマシテ、占領地下ニアル
日本國民、日本民族ト致シマスナラ
バ、ソコニハ我々國民ノ本能ト致シマ

テ、我々モ了承スルノデアリマスガ、
私ハ貿易廳ノ方ニ是非トモ徇伺ヒシテ
置キタイコトハ、國民ガ今方ヲ待チニ
待ツテ居ル平和會議後ニ於ケル我ガ日
本ノ對外貿易ハ、如何ナル方向ト如何
ナル具體性ヲ以テ進ンデ行クベキカ、

テ日本民族が如何ナル貿易ニ進ムカ
ト云フコトヲ知りマシテ、ソコニ大キ
ナ希望ト、準備モ亦國民全體が持ツコ
トガ出來ルト考ヘルノデアリシヲ、故
ニ、詳細ナコトハ私ハ御聽キハ致シマ
セヌケレドモ、大體ノ輪郭ト云フモ

ヲ御持チニナルナラバ、其ノ輪廊ヲ御
聽カセテ願ヒタイト思ヒマス、又其ノ
方向ト云フモノヲ一ツ御聽カセテ願ヒ
タイ、サウシテ國民全體ニ平和會議後
ニ於ケル貿易ノ對スル大ナル希望ヲ與
ヘ、産業ノ再建ト經濟ノ復興發展ニ邁
進セシメテ戴クヤウニ御願ヒシタイノ
デアリマスルガ、ドウカ平和會議後ニ
於ケル海外貿易ノ構想ヲ、一ツ是非ト
モ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス

○岡村政府委員 只今ノ金子委員ノ御
質問ニ對シテ御答ヘテ申上ゲマス、只
今ノ御質問ノ御趣意全ク全面的ニ私共
モ同感ニ存ズルノデゴザイマスガ、何
モ根本的ナ大キナ問題デゴザイマスノ
デ、私共キ者カラ彼此レ御答ヘ申上ゲ
マスヨリモ、大臣ナリ、或ハ貿易廳長
官カラ申上ゲルベキ筋ダト存ジマス、
併シナガラ御尋ネガゴザイマスノデ、
私共ノ抱懷シテ居マス一端ヲ、何等
カノ御參考ニナレバ存ジマシテ御答
ヘテ申上ゲタイト思フノデアリマス
其今ノ御答ヘト致シマシテハ、第一
ノ問題ハ、平和會議ノ成立ト共ニ、日
本ノ現在ノ管理貿易ハ終熄ヲ致シマシ
テ、從來ノ自主的ナ貿易ガ復元スルヤ
ヤ否ヤト云フ問題ト、其ノ後ニ於ケル
我が國ノ貿易ノ方、如何ニ之ヲ展
開セシムベキカ、其ノ根本方針如何ト
云フ二ツノ點ダラウト存ズルノデゴザ
イマスガ、先ヅ第一ノ問題デアリマ
ス、御承知ノ通り現在我が國ハ聯合國
最高司令部ノ完全ナル管理下ニ於テ貿
易ヲ營ンデ居ルノデゴザイマシテ、此
ノ意味ニ於キマシテ嚴密ナ意味デハ、
貿易トハ申シ難イ情勢ニアルカト存ゼ
ラレルノデアリマスガ、是ガ平和條約
ノ締結後ニ於キマシテ同時ニ終熄ヲ致
シマスルカ、或ハ繼續ヲ致シマスルカ

ト云フコトニ付キマシテハ、有體ニ申
上ゲマス、私共トシテハハツキリ申
上ゲ難ナルノデゴザイマス、勿論現在
ノ管理貿易ト云フモノガ一日モ早ク終
熄スル、或ハ少クモ其ノ管理ノ程度ヲ
緩和致シマスコトハ、私共ノミナラズ
一般國民ノ念願致シテ居ル所デハゴザ
イマスルケレドモ、是ハ一ニ最高司令
部ノ方寸ニアルノデアリマシテ、私共
ノ推測ヲ以テ致シマスレバ、是ハ單ニ
貿易ダケノ問題デナシニ、其ノ背後ニ
アル日本ノ將來ノ産業ノ展開ナリ或ハ
經濟ノ構造ナリ、サウ云フモノノ整備
安定ト睨ミ合ツテ許サルベキモノデハ
ナイカト存ゼラレルノデアリマス、此
ノコトニ付キマシテハ貿易廳長官アタ
リカラモ、向フノ首腦部ト會見致シマ
ス都度、色々トコナラ希望ヲ申述
ベ、又伺ツテ居ルノデゴザイマスガ、
現在ノ所デハ、是ガ調和條約ノ成立ト
共ニ終熄ヲ致スト云フコトヲ、ハツキ
リ申上ゲル段階ニハ至ツテ居ラナイノ
デゴザイマス、併シナガラ或ハ是ハ希
望的ナ觀測カトモ存ゼラレマスガ、現
在ノ管理貿易ハ大體之ヲ頂點ト致シマ
シテ、今後ノ日本ノ經濟情勢ノ推移展
開ト共ニ其ノ様相ヲ多少變ヘテ參リ
マシテ、其ノ管理ノ程度ヲ減ズルノデ
ハナイカト云フコトニ付キマシテハ、
是ハ期待ガ持テラカト存ゼラレルノデ
ゴザイマス、併シナガラ結論ト致シマ
シテハ、調和條約ノ成立ト同時ニ、現
在ノ貿易ガ再び從來ノ所謂自由貿易ニ
復元ヲ致スト云フコトハ、確言ヲ致シ
兼ねルノデゴザイマス

ソレカラ第二ノ問題ト致シマシテ、
其ノ調和條約成立後ニ於ケル日本ノ貿
易ヲ、如何ニ展開セシムベキカト云フ
問題デゴザイマスガ、今後ノ貿易ガ懸
ツテ我が國ノ將來ヲ左右スルト云フ御
意見ニ對シテハ、是ハ全ク同感デゴザ
イマシテ、私共ハ左様ナ信念ヲ持ツテ
現在貿易ノ仕事ヲ御預リ致シテ居ルノ
デゴザイマス、從來ハ國防國家ノ建設
ノ爲ニ、所謂「アウタルキー」のナ經濟
ノ運営、又其ノ關係カラ致ス貿易ノ運
營ト云フコトガ行ハレテ參ツタノデゴ
ザイマスルケレドモ、今後ハ左様ナ意味
合トハ全然異リマシテ世界ニ於ケル政
治的ナ國家ノ建設ノ意味合ニ於キマシ
テ、原材料ノ關係モ、必ズシモ之ヲ國
内ニ於テ自給ヲ致スト云フ風ナ點ニ固
執ヲ致スコトナク、寧ロ左様ナ我が國
ニ乏シイ原材料ヲ國內ニ於テ無理ニ苦
シンデ生産ヲ致スヨリモ、ソレヲ豐富
ニ生産致シマス諸國ヨリ輸入ヲ致シマ
シテ、之ニ加工ヲシテ之ヲ輸出シテ貿
易ハ、バランスヲ取り、ソレニ依ツテ日
本ノ經濟ヲ安定セシムルト云フ方向ニ
持ツテ參ルベキダト存ゼラレルノデゴ
ザイマス、棉花ノ問題ニ致シマシテ
モ、御承知ノ通り從來ノ所謂産業五箇
年計畫、四箇年計畫ニ於キマシテハ、
或ル程度ノ棉花ノ自給ヲ考ヘテ居ツタ
ノデアリマスガ、今後ハ左様ナ點ハ全
ク之ヲ揚棄致シマシテ、之ヲ豐富ニ生
産致シマス「アメリカ」ナリ、「エジプ
ト」ナリ、「インド」ナリカラ供給ヲ仰
イデ、之ニ加工シテ國內ノ需要ヲ滿ス
ト同時ニ、其ノ大部分ヲ國外ニ輸出シ
テ、以テ所要資材ノ輸入ノ支拂手段ノ
増出ニ充テル、斯様ニ持ツテ參ルベキ
デハナイカト存ゼラレルノデゴザイマ
シテ、現在本年ノ下半期迄ニ來二十二
年全年度ニ亘リマシテ、輸出入計畫ヲ
一應策定致シマシテ、總司令部ニ提出
ヲ致シテアルノデゴザイマスガ、其ノ
品目ナリ、數量ナリ、仕向地、仕出地

等ノ考ヘ方ニ付キマシテハ、只今申上
ゲマシタヤウナ見地カラ檢討ヲ致シテ
居ルノデアリマス、尙ホ斯様ナ根本的
問題ニ付キマシテハ、適當ノ機會
ニ——本日貿易資金特別會計法案カ上
程ニナリマスノデ、其ノ委員會ニ於キマ
シテ左様ナコトヲ詳細申上ゲル機會モ
アラウカト存ゼラレマスガ、一應私共
ノ考ヘテ居リマス所ヲ申上ゲマシテ、
御參考ニ供シテ譯デアリマス、何卒詳
細ニ付キマシテハ、其ノ委員會ニ於テ
モ御尋ネテ願ヒタイト思フノデアリマ
ス

○金子委員 今ノ政府委員ノ答辭ニ依
リマシテ、大體ノ方向ガ分ルヤウナ感
ジモスルノデアリマスガ、政府委員モ
言ハレル通り、詳細ナル點ハ後日申上
ゲルコト云フコトニナツテ居リマスカ
ラ、時間ノ關係モアリマスノデ是レ以
上ハ申上ゲマセヌ、唯私共ハ今カラ考
ヘテ置キタイコトハ、私共ハ確カニ戰
争ニ負ケタノデアリマス、而モ「ボツ
ダム」宣言ヲ受諾致シマシテ忠實ニ履
行シテ居リマス、併シ如何ニ負ケタ國
民トハ言ヒナガラ、完全ニ聯合國ノ言
フ通りニ「ボツダム」宣言ヲ受諾シテ、
之ヲ忠實ニ履行シテ行ク限リニ於テ、
而モソレガ認メラレテ平和會議ガ開會
サレル、平和條約ガ締結サレルコトニ
ナリマスナラバ、假令ドウ云フ事情ガ
アリマセウトモ、其ノ瞬間カラ私共日
本人ハ一箇ノ獨立國家ノ國民トシテ、
解決サレル民族トシテ、凡ユル諸聯
合國ノ制約ヲ排除スルト云フ、民族ノ
誇リヲ持タナケレバナラナイノデハハ
イカド考ヘテ居リマス、唯負ケタカラ
凡ユル條件ヲ忍バナケレバナラナイト
云フヤウナ卑屈ナ考ヘヲ持タナイデ、
日本民族ガ生キル爲メ、日本民族ガ眞

ニ世界ノ文化ニ貢獻ナシ得ル所ノ、高
度ノ文化ヲ創造スル爲ニ、必要ナル經
濟的基礎ヲ築ク爲ニ、若シ自由貿易ガ
絕對ニ必要ナリト云フ信念ガアリマ
スナラバ、此ノ點ハ私ハ聯合國ニ向ツテ
モ、是レ爲サズンバ我が民族ガ高度ノ
文化國民、高度ノ平和國民トシテ生キ
ラレナイト云フ信念ヲ披露シテ、之ヲ
打突ケテ戰ヒ取ルコトガ、我々ニ與
ラレタル所ノ重大ナル任務ナリト考ヘ
テ居リマス、ドウカ政府當局ニ於テモ
其ノ點ハ卑屈ニナラナイデ、日本民族
ノ日本國家ノ眞ニ行クベキ途ガ此處ニ
アルト信ジタナラバ、大膽率直ニソレ
ヲ申上ゲマシテ、以テソレヲ獲得シ、
以テ世界文明ニ日本民族ガ、文化的、
平和的ニ貢獻ナシ得ル基礎ヲ築クコ
トガ必要デアルト私ハ信ジテ居リマ
ス、ドウカサウ云フ意味ニ於テ政府當
局ニ於ケレマシテハ、特ニ若イ事務官
ニ於ケレハ、若キ熱意ト力トヲ以
テ、大膽率直ナル行動ヲ是非起シテ眞
ヒタイト御願ヒ致シマス、貿易廳ニ對
スル質問ハ是デ終リマス

ソレカラモウ一ツ商工省ノ方ニ御伺
ヒ致シマスガ、商工協同組合ガ應ニ設
立サレルコトニナリマスレバ、ソレガ
中小商工業者ニ及ボス所ノ影響ハ、洵
ニ重大ナルモノガアルト私ハ考ヘテ居
リマス、而モ地方ニ於ケル所ノ色々ナ中
商工協同組合ト云フモノハ、地方々々
ニ於ケル所ノ特色ヲ生カシナガラヤ
ツテ行カナケレバ、其ノ組合ノ發展ハ
ナシ得ナイト思ヒマス、サウ云フ意味
合ニ於テ商工協同組合府縣聯合會ト云
フモノヲ設立致シマシテ、地方ノ特
色ヲ生カシテ行クコトガ、將來地方ニ
於ケル商工協同組合ノ發達ニ、絕對ニ
必要デハナイカト考ヘテ居リマス、此

ニ世界ノ文化ニ貢獻ナシ得ル所ノ、高
度ノ文化ヲ創造スル爲ニ、必要ナル經
濟的基礎ヲ築ク爲ニ、若シ自由貿易ガ
絕對ニ必要ナリト云フ信念ガアリマ
スナラバ、此ノ點ハ私ハ聯合國ニ向ツテ
モ、是レ爲サズンバ我が民族ガ高度ノ
文化國民、高度ノ平和國民トシテ生キ
ラレナイト云フ信念ヲ披露シテ、之ヲ
打突ケテ戰ヒ取ルコトガ、我々ニ與
ラレタル所ノ重大ナル任務ナリト考ヘ
テ居リマス、ドウカ政府當局ニ於テモ
其ノ點ハ卑屈ニナラナイデ、日本民族
ノ日本國家ノ眞ニ行クベキ途ガ此處ニ
アルト信ジタナラバ、大膽率直ニソレ
ヲ申上ゲマシテ、以テソレヲ獲得シ、
以テ世界文明ニ日本民族ガ、文化的、
平和的ニ貢獻ナシ得ル基礎ヲ築クコ
トガ必要デアルト私ハ信ジテ居リマ
ス、ドウカサウ云フ意味ニ於テ政府當
局ニ於ケレマシテハ、特ニ若イ事務官
ニ於ケレハ、若キ熱意ト力トヲ以
テ、大膽率直ナル行動ヲ是非起シテ眞
ヒタイト御願ヒ致シマス、貿易廳ニ對
スル質問ハ是デ終リマス

ノ點ニ對シマシテ當局ハ如何ニ御考ヘ
ニナツテ居ラレマスカ、若シ商工協同
組合府縣聯合會ガ、地方ノ特色ヲ十二
分ニ生カシテ發達スルト云フコトニナ
リマスカ、ソレニ對スル所ノ金融ノ
仕方ハ、ヤハリ箇々別々ノ協同組合ニ
スルニアラズシテ、出來ル府縣聯合會
ヲ通ジテ箇々ノ協同組合ニ、資金ヲ拂
布スルト云フ方法ガ必要デハナカト
考ヘテ居リマスカ、此ノ點ニ對シテド
ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ

○小出政府委員 只今ノ御尋ネハ商工
協同組合ガ幾ツカ集マリマシテ、所謂
聯合形態ノ協同組合ヲ作ル問題デガザ
イマスカ、ソレニ付キマシテハ此ノ法
案ノ法文ノ上ニ於キマシテハ、聯合會
ト云フ又字ヲ用ヒテハ居リマセヌケレ
ドモ、第七條ノ組合ノ組織ノ所ニ於キ
マシテ、商業者或ハ工業者ヲ以テ組織
スル團體、ソレ等ノ團體ヲ以テ更ニ組
合ガ出來ル、斯ウ云フ風ナ規定ガアリ
マシテ、是ガ申スマデモナク、幾ツカ
ノ協同組合ガ集マツテ、其ノ上ニ聯合
會ヲ作ルト云フコトヲ豫想致シテ居ル
譯デアリマス、其ノ場合ニ聯合會ト云
フ名稱ヲ用ヒルコトハ少シモ差支ヘナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ業種別
ニ、或ハ一定ノ地域ニ於キマシテ、綜
合的ニ聯合會ヲ作ルコトハ差支ヘナイ
コトデゴザイマス、ソレカラ金融ノ場合
ニ於キマシテハ、勿論箇々ノ協同組合
ヲ單位ニ致シマシテ金融ヲスルコト
モ、出來レバ聯合會ノ行ヒマス事業ニ
對シマシテ、ソレヲ通ジテ金融ヲスル
ト云フ方法モ、何レノ方法モ可能デゴ
ザイマス

○竹田委員長 是デ質疑ハ全部終リマ
シタ、一時半マデ休憩致シマス、ソレ
マデニ理事會ヲ開キタイト思ヒマス、
午後一時半カラ各派ノ討論ヲ進メ、討
論ヲ終結致シタイト思ヒマス
午後零時二十一分休憩

午後二時十八分開議
○竹田委員長 是ヨリ商工協同組合
案ヲ議題トシテ討論ニ付シマス、協同
民主黨ヲ除ク各派共同修正ノ動議ニ付
テハ、討論中加藤一雄君ニ御説明ヲ御
願ヒスルコトニ致シマス——加藤一雄
君

○加藤(一)委員 今回政府ハ時局ニ鑑
ミマシテ商工協同組合法案ヲ本議會ニ提
案ニ相成リマシタ、其ノ歸スル所洵ニ時
局下ニ際シマシテ最モ妥當ナル法案ト考
ヘテ居リマスカ、御案内ノ通り終戦後ハ
道義地ニ墜チマシテ、搦テテ加ヘマシ
テ、今日物資ハ非常ニ缺乏致シテ居リ
マス、此ノ缺乏ノ焦土カラ日本經濟ノ
起チ上リヲ期スルニ當リマシテハ、人
各、自分ダケ良ケレバ宜シイ、他人ハ
ドウデモ宜イト云フヤウナ利己主義デ
ハ、斷ジテ日本ノ再生ハ罷リナラヌト
考ヘマス、茲ニ國人愛ノ必要ナコトハ
各同僚議員カラ屢々述べラレタ通りデ
アリマシテ、私モ至極同感ナ點デアリ
マス、政府ハ茲ニ意ヲ用ヒラレマシ
テ、協同組合ガ將來日本ノ經濟ノ基盤
トシテ、國人愛ヲ分チ合ヒツ、相共
ニ再生日本ヲ建設セラレヤウニ御指
導ヲ賜ハランコトヲ、本案ノ討論ニ入
ルニ當リマシテ一言政府ニ要請致シテ
置キマス

其ノ次コ本日大蔵大臣ガ御來場下サ
イマシタナラバ、一應金融ノ民主化ニ
付キマシテ御説明ヲ承リタカッタノデ
スガ、大蔵大臣ガ御出席ゴザイマセヌ
ノデ、商工大臣ガ居ラレマスカラ御歸
リヒナリマシタナラバ、大臣カラ大蔵

大臣ニ其ノ旨御傳ヘ願ヒタイノデアリ
マス、今日「ボツダム」宣言ノ忠實實行
ノ建前上、聯合會ガ進駐致シマシタ
後、各産業ハソレレノ解體ヲ遂ゲマシ
テ、民主化ノ線ニ沿ヒマシテ經營ニ當
ジテ居ルノデアリマスガ、金融機關ニ
關スル限り、マダ民主化ノ聲ヲ聞イテ
居リマセヌ、今回ノ議會ニ當リマシテ
モ、何人モ此ノ金融民主化ノ問題ニ付
キマシテハ、マダ論議ヲ戰ハシテ居ル
ノヲ聞イテ居リマセヌ、ソコデ項目ヲ
分ツテ御願ヒラ致シマスルガ、第一ニ
金融民主化ト申シマスノハ、公債金融
中心主義ヲ排撃スルコト、證券金融及
ビ割引金融中心主義ニ移行スルコト、
資金ノ供給ヲ從來ノ商業的金融カラ生
産金融ニ移行スルコト、又從來政治的
性格濃厚デアリマシタ特殊銀行ニ付キ
マシテ、其ノ關係スル分野ヲハツキリ
調整ヲ致シマシテ、全面的ニ之ヲ調整
スルコト、日本銀行ノ問題ハ暫ク言及
フ差控ヘテ置キマスルガ、以上ノ點ニ
付テ大蔵大臣ニ、速カニ此ノ金融ノ民
主化ヲ圖ラレマシテ、同僚議員ガ屢々
質問致シテ居リマス通り、如何ニ政府
ガ口デ申サレマシテモ、此ノ方面ノ關
係ガハツキリ致サヌコトニハ、商工協
同組合ガ奮然ニ歸スルコト勿論デアリ
マスカラ、金融面ノ疎通ヲ旨クヤツテ
戴キマシテ、相共ニ産業復興ニ邁進ス
ルヤウニ、速カニ此ノ制度ヲ實現セラ
レンコトヲ御願ヒ致ス次第デアリマス

以上ヲ以チマシテ私ノ討論ヲ終リマ
スルガ、最後ニ私ハ第三十一條ヲ修正
致シマシテ、本案ニ賛成ヲ致シマス、
即チ第三十一條第二項ノ次ニ左ノ一項
ヲ加ヘマス、特別ノ理由があるときに
は、理事のうち二人以内を限り、前項

に該當しない者のうちから、これを選
任することができる。同條第三項ヲ第
四項トシ、同項中「前項本文」トアルノ
ヲ「第二項本文ニ改メ、第七十條中
「第三十一條第二項第三項、」トアルノ
ヲ「第三十一條第二項乃至第四項」ト改
メ、此ノ修正ヲ致シマシテ私ノ本案
ニ對スル賛成ノ討論ヲ終リマス(拍
手)

○竹田委員長 宮前進君
○宮前委員 進歩黨ヲ代表致シマシテ
本案並ニ其ノ修正案ニ賛成スル者デア
リマス、唯員外理事ノ問題デアリマス
ルガ、是ハ實際運轉ニ當リマシテ非常
ナ大キナ組合ノヤウナモノニナリマス
ト、其ノ組合ノ運轉ニ際シマシテ、技
術的ニモ事務的ニモ、非常ニ堪能ナ方
ヲ要スル場合ガアリマシテ、斯ウシタ場
合ニ、業者カラ選出致シマシタ理事ノ
ミヲ以テ致シマシテハ、其ノ目的ヲ達
スルコトガ出來マセヌノデ、是非トモ
員外ノ理事ヲ選任スルコトガ必要デア
ル、斯ウ云フ意味ヲ痛感致シマシテ、
特ニ此ノ修正ニ賛成スル者デゴザイマ
ス、尙ホ理事ノ中ニハ從來能ク見ラレ
タヤウナ官僚ノ古手ヲ充テルト云フヤ
ウナコトハ、嚴シ慎シテ貫フヤウニ願
ヒタイノデアリマス

尙ホ特ニ強調申上ゲタイコトハ、第
七條第三號ニ各種團體ヲ以テ團體ヲ組
織スルコトガ出來ルト云フコトニナツ
テ居リマスガ、我が國ノ如ク物資ノ少
イ國ニ於キマシテハ、組合ノ運轉ニ當
リマシテ、其ノ少イ物資ヲ最モ有效ニ
生産シ、最モ有效ニ配給スルコトガ必
要デアリマスノデ、斯ウシタ關聯産
業、例ヘバ鐵トカ石炭トカ云フヤウナ
産業ニ付キマシテハ、關聯産業ヲ以テ
聯合會ヲ組織致シマシテ、其ノ連絡ヲ

強化シテ生産ノ向上ヲ圖ルト共ニ、配
給ガ眞ニ實際ニ要求シテ居ル需要方面
ニ、適正ニ流レルヤウニシタイト思
フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キ
マシテ、關聯産業ヲ組織スルコトガ出
來ルト云フノミニ止マラズ、政府ハ進
ンデ積極的ニ、關聯産業ノ聯合會ト云
フヤウナモノヲ組織サセルヤウニ獎勵
シテ戴キタイト云フコトヲ、進歩黨ノ
總意ヲ以テ強く、切望スル者デアリ
マス(拍手)以上ヲ以チマシテ本案ニ贊
成申上ゲル理由ト致シマス

○前田委員 本員ハ日本社會黨ヲ代表
致シマシテ、本商工協同組合法案ノ修
正案ヲ附シタル本案ニ對シテ、贊成ヲ
表明致ス者デアリマス、本案ニ付キマ
シテハ既ニ質疑ノ中デ本員ヨリモ強く
申述ベタルノデアリマスガ、要スル
ニ本案ハ日本經濟ノ再建ノ爲ニモ、又
經濟民主化ノ爲ニモ、本案案ノ自體
ガ日本ノ只今申上ゲマシタ事項ニ役立
ツト云フヨリモ、此ノ法案ノ活用、法
案ノ運用ニアルノデアリマシテ、要ス
ルニ本案ヲ活力カスモ殺スモ今後ノ政府
ノ態度、行政ノ運轉ノ如何ト云フコト
ニアルト云フ點ヲ強く主張致シマシ
テ、政府ニ十分ナル熱意ヲ以テ、經
濟ノ民主化ニ對シテ邁進シテ戴キタイ
コトヲ強く要望スル者デアリマス、戰
後日本ノ國民ハ、戰爭中ニ於ケル所ノ
官僚機關ノ誤マレル統制ノ爲ニ、自由
ヲ要求スル熱意ガ非常ニ澎湃トシテ起
ツテ參リマシタガ、此ノ自由ヲ要求ス
ル心持ニ對シテ、一部ノ人々ハ、唯國
民ニ自由保護法ヲ絶叫シテ糖喜ビニ終
ラントスルト云フヤウナ傾向モアルノ
デアリマス、我が日本社會黨ハ、政治
的ニハ國民ニ自由ヲ與ヘルベキモノデ

第六類第二十三號 臨時物資需給調整法案委員會議錄 第十三回 昭和二十一年九月二十七日

二三三

アルコトヲ強ク主張致シ經濟のニハ個人ノ自由ハ尊重スベキデアリマスルケレドモ、日本ノ此ノ誤レル經濟ヲ建直ス爲ニハ、高度ナル計畫經濟、社會主義經濟ニ立ナケレバ再建困難デアリコトヲ、黨ノ主張トシテ長ク唱ヘテ参ツタノデアリマス、本法執行ニ付テモ、政府ハ計畫經濟ノ拍車トナルトモ「ブレイク」トナラザルヤウニ、一ツ肚ヲ決メテ、勇敢ニ實行サレンコトヲ特ニ要望致シマシテ、本案賛成ノ言葉トスル次第デアリマス（拍手）

○竹田委員長 川野芳満君

○川野委員 我ハ協同民主黨ヲ代表致シマシテ、原案ニ賛成致シ、三十一條ノ修正案ニ反對ノ意ヲ表明セントスルモノデアリマス

本法案ハ洵ニ民主的ナ法案デアリマシテ、私ハ其ノ立案者ニ對シ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、併シ如何ナル民主的ナ法案デモ、之ヲ生カスカ殺スカト云フコトハ、其ノ運用ニ當ル所ノ關係當局ニアリト私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ御當局ニ於カセラレマシテハ、先日來當委員會ニ於テ、最モ熱意アル御答辯ヲサレタノデアリマスガ、其ノ答辯ヲ實際ニ生カサレンコトヲ切望致ス次第デアリマス、尙ホ三十一條ノ修正ハ、此ノ民主的ナ法案ヲ非民主的ニ導クモノデアルト考ヘルノデアリマス、戰時中官僚或ハ官僚ノ古手ガ統制組合ニ入リマシテ、組合ヲ戰時型ニ導イタコトハ、玆ニ私ガ論ズルマデモナ

イコトデアリマスルガ、私ハ此ノ愚ヲ再ビ繰返スコトヲ欲シナイ、故ニ修正案ニ反對致シ、原案ニ賛成スルモノデアリマス

○竹田委員長 榊井慶太郎君

○増井委員 我ハ國民黨ヲ代表致シマ

シテ本案ノ修正サレマシタ所ノ部分ニ付キマシテ、全部賛意ヲ表スル次第デアリマス、我ガ國ノ敗戦後ニ於ケル所ノ中小商工業者ガ、今後ノ行キ方ニ付テ非常ニ悩ミ居ル、此ノ意味ニ於キマシテ、政府ガ本案ヲ御提出ニナリマシテ、サウシテ中小商工業者ノ爲ニ色色オヤリ下サルコトニ付キマシテハ、私ハ非常ニ喜ビトスル次第デアリマス、併シ過去ノ商業組合、或ハ統制組合ト云フモノハ、唯徒ラ其ノ名ノミデ、其ノ實ハ行ハレテ居ナイト云フコトモ往々ニシテアリマス、尙且中央會ニ至リマシテハ、多ク其ノ役員ノ如キハ、要スルニ組合屋ト云フヤウナ方々ノ集マリデアリマシテ、何等地方ノ組合ニ對シテ指導ヲシタコトガナイト云フヤウナモノガアリマシタ、今度ノ協同組合ニ於キマシテハ斯カルコトノナイヤウニ、ドウゾ一ツ宜シク御願ヒ致シマス、以上ヲ以チマシテ賛成ノ意ヲ表シマス

○竹田委員長 福田繁芳君

○福田委員 我ハ無所屬俱樂部ノ立場デ本案ヲ眺メマシテ、率直ナル意見ヲ申上ゲ、一部政府ニ苦言ヲ呈シマシテ、サウシテ以テ私達無所屬俱樂部ノ本案ニ對スル態度ヲ表明致シタイ、斯ウ思フノデアリマス、本案全體ヲ眺メマスレバ、非常ニ時代ニ則應致シマシテ、ノミナラズ、少クトモ日本ノ國ノ産業再建ノ爲ニハ、一刻モ急ヲ要スルト云フ點ニ於キマシテハ、間違ヒガナイ事實デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ先般モ商工大臣ニ御伺ヒ致シマシタ如クニ、最近各都府ニ互ツテ色々ナ組合ガ出來マスノデ、トモスレバ其ノ各々ノ組合間ノ圓滿ナル助成ト云フコトガ比較的困難ニ陥ル、所謂摩擦ガ

起ツテ來ル、斯ウ云フ點ガゴザイマスルカラ、此ノ點ハ多分ノ御注意ヲ願フテ、以テ本法案ノ提案ノ理由ニ副フヤウニ努力シテ貰ヒタイ、是ガ一ツ、モウ一ツハ、是モ過般申上ゲタノデアリマスルガ、斯ウ云ツタ組合制度ニナツテ行クコトハ、何ト致シマシテモ競争中ニ歐米各國カラ批評サレタ如クニ、我が國産業過程ノ獨占的「カルテル」化デアル、此ノ要素ガ強化サレツ、アルノデアル、斯ウ云フ風ニ批評サレテ來タコトハ事實デアリマス、殊ニ我が國ハ是カラ世界經濟ニ乘リ出サントスル、斯ウ云フ重大ナ時デアリマスルカラ、一面對外的ニモ然ルベキ對策ト善處ヲ心掛ケテヤツテ貰ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ能ク御念頭ニ置カレマシテ、本法案ヲ採フ所ノ末端ノ方ニモ間違ヒガナイヤウニ監督シテ貰ヒタイ、此ノ二項目ノ希望ヲ申上ゲテ、サウシテ先ツ第一ニ本案ニ賛成致シタイと思ヒマス

其ノ次ニ、三十一條ノ修正デアリマスガ、是ハ私ハモウ双手ヲ舉ゲテ賛成スルノデス、今モドナタム反對ナサレタ方ガアツタノデアリマスガ、本當ノ日本ノ産業界ノ過程ニ對スル認識ノ疎イコトヲ、非常ニ私ハ遺憾ニ思フ、何ト致シマシテモ、組合員ノミノ理事者ヲ以テ運営スルト云フ、サウ云フ生易シイ事態ノ日本ノ産業ノ建直シデハナイノデアリマス、相當重大ナ責任ガアルノデアリマスカラ、ドウシテモ組合外カラ學識經驗アル者——先程言ハレタ官僚ノ古手ハモウ駄目デス——學識經驗アル者相當人格卓見ノアル者、斯ウ云フ者ヲ或ル程度理事ニ入レマシテ、サウシテ實際ノ組合員ノ體驗ト云フモノト、サウ云フ組合員外ノ方ノ持

タレル所ノ長所、兩方ヲ合セテ渾然一體トナサナケレバ、日本ノ國ノ産業ノ改革ハ困難デアル、斯様ニ私ハ産業人ノ一人トシテ固イ信念ヲ持ツテ居リマスノデ、三十一條ノ修正ニハ、無所屬俱樂部トシテ双手ヲ舉ゲテ賛成スル次第デアリマス

以上、無所屬俱樂部トシテノ本案ニ對スル態度ヲ表明致シマス（拍手）

○竹田委員長 討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決致シマス

先ツ、第三十一條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘル、特別ノ理由があるときは理事の中二人以内を限り、前項に該當しない者の中からこれを選任することができる。

同條第三項中「前項本文」を「第二項本文」ニ改メル

第七十條中「第三十一條第二項第三項」ヲ「第三十一條第二項乃至第四項」ト改メル

ノ修正ニ付テ採決致シマス、賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○竹田委員長 起立多數、仍テ本修正案ハ提案ノ通り決シマシタ

次ニ、本案中只今議決致シマシタ修正部分ヲ除イテ他ノ部分ニ付テ採決ヲ致シマス、本案中修正以外ノ部分ニ付テ、原案ノ通り決スルニ御賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○竹田委員長 起立總員、仍テ本案ノ修正部分ヲ除イテ他ノ部分ハ原案ノ通り決シマシタ、是ニテ臨時物資需給調整法案委員會ノ議事ハ全部修了致シマシタ

此ノ場合一寸御挨拶ヲ申上ゲマス、臨時物資需給調整法案ハ、實ニ難ト

云フ渾名ヲ付ケラレタノデスガ、諸君ノ御熱心ナル御協力ニ依ツテ圓滿ニ修正可決セラレマシタシ、又此ノ商工協同組合法案モ、連日ノ御熱心ナル御質疑ノ結果、大體圓滿ニ可決致シマシタコトヲ深く多ク致スモノデアリマス、諸君連日ノ御精勵ニ對シ謹シク御禮ヲ申上ゲテ御挨拶ヲ致シタイト思ヒマス、是ニテ本日ハ散會致シマス

午後二時四十分散會